

平成 30 年 9 月 27 日政策・総務・財政委員会要求資料について
(市第 23 号議案 横浜みどり税条例の一部改正 関連)

平成 30 年 9 月 27 日政策・総務・財政委員会において、要求のありました資料について、次のとおり提出いたします。

1 税・財政関係

- 資料 1 最近の横浜市内の経済状況及び今後の経済施策(中小企業支援の取組み)
- 資料 2 個人市民税の所得階層別の納税義務者数
- 資料 3 個人市民税均等割の課税対象の下限額(非課税基準)
- 資料 4 横浜みどり税の納税義務者数及び収入額(個人・法人)の推移(5か年実績)
- 資料 5 欠損法人の割合の推移(25~29年度)
- 資料 6 他の自治体で実施している課税自主権による「横浜みどり税」類似の税の一覧
- 資料 7 消費税率 10%への引上げ時における本市歳入への影響(法人課税・車体課税)

2 広報関係

- 資料 8 横浜みどり税の広報に係る実績について
- 資料 9 みどりアップ計画の認知度の推移
- 資料10 附帯意見に対する広報の取組実績及び今後の取組について

3 これからの緑の取組[2019-2023](案)関係

- 資料11 樹林地保全の実績及び指定・買取面積の考え方
- 資料12 横浜みどりアップ計画(H26-30)で、買い取った樹林地の面積と金額(個人・法人の別)
- 資料13 平成 21 年度以降の樹林地の買取りに要した費用の財源内訳
- 資料14 地産地消の状況について
- 資料15 身近な緑の創出の実績と今後の計画
- 資料16 街路樹の維持管理に要した全体の予算額
- 資料17 街路樹について(街路樹再生の事業スキームや実施予定箇所)
- 資料18 これからの緑の取組(案)の中で実施するガーデンネックレス横浜の内容と事業費
- 資料19 市民協働の取組実績

最近の横浜市内の経済状況及び今後の経済施策（中小企業支援の取組）

1 最近の横浜市内の経済状況

ア 月例経済報告 30年9月（内閣府 9月14日発表） 我が国経済の基調判断

景気は、緩やかに回復している。

- ・個人消費は、持ち直している。
- ・設備投資は、増加している。
- ・輸出は、このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる。
- ・生産は、緩やかに増加している。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、着実に改善している。
- ・消費者物価は、このところ上昇テンポが鈍化している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。また、相次いでいる自然災害の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

イ 地域経済報告 30年7月（日本銀行 7月9日発表）

各地域の景気の総括判断をみると、6地域（北陸、関東甲信越、東海、近畿、中国、九州・沖縄）で、「拡大している」、「緩やかに拡大している」としているほか、3地域（北海道、東北、四国）では、「緩やかな回復を続けている」等としている。この背景をみると、海外経済の着実な成長に伴い、輸出が増加基調にある中で、労働需給が着実に引き締まりを続け、個人消費が改善するなど、所得から支出への前向きな循環が続いていることが挙げられている。

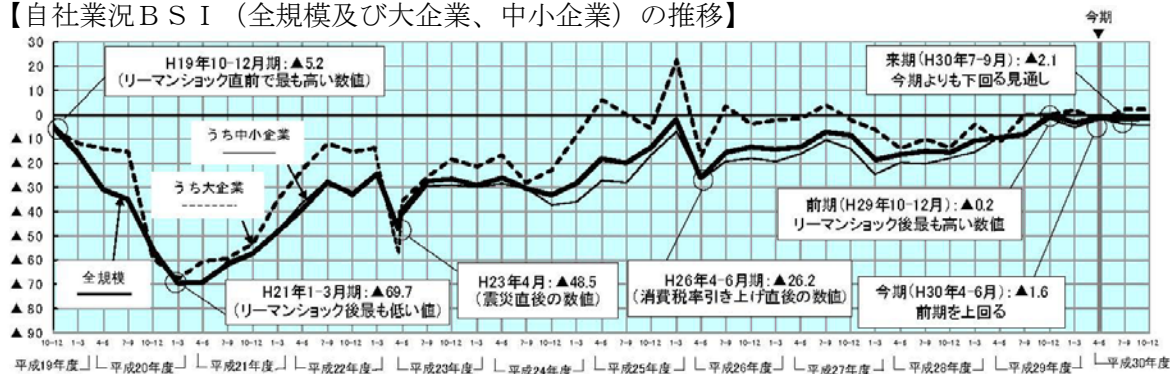
前回（2018年4月時点）と比較すると、全ての地域で総括判断に変更はないとしている。

ウ 横浜市景況・経営動向調査 30年6月調査（横浜市経済局 6月27日発表）

自社業況BSIは、中小企業で改善が見られ、プラス1.7ポイントと前期の減少から上昇に転じる。

一方で、人手不足等の先行き不透明感から、来期は再び減少に転じる見通し。

【自社業況BSI（全規模及び大企業、中小企業）の推移】



<裏面あり>

2 今後の経済施策（中小企業支援の取組）

「横浜市中期4か年計画2018～2021（原案）」の政策1「中小企業の経営革新と経営基盤の強化」に掲げている中小企業支援の取組は、次のとおりです。

ア 中小企業への基礎的支援の充実

（公財）横浜企業経営支援財団によるワンストップ経営相談窓口や専門家によるコンサルティング等に加えて、積極的な企業訪問、保有施設の最適化等により、中小企業の経営支援を強化します。また、経営環境の変化に対応した資金繰り支援や試験分析による技術面での支援などの充実を図ります。

イ 中小企業の喫緊の課題である人材確保と事業承継

多様で柔軟な働き方や健康経営を促進するほか、民間の就職情報サイトの活用や就職フェアへの出展等により、中小企業の人材確保を支援します。また、経営者の高齢化が進む中、後継者問題を抱える中小企業の円滑な事業承継の支援を行います。

ウ 生産性向上や販路拡大による経営革新

生産性向上のための設備投資の支援を行います。また、中小企業が持つ優れた商品・技術の販路開拓・拡大に向け、販促費用の助成やコーディネート、海外市場におけるビジネス展開支援等を行います。

エ 地域に根差して活躍する商店街・企業の支援、横浜マイスターなどの技能職の支援

商店街を支える基礎的な支援に加え、空き店舗対策やインバウンドの獲得等により、賑わいの創出や魅力アップに取り組み、商店街の活性化を図ります。また、地域・社会的課題の解決に取り組むソーシャルビジネス事業者や地域に根差したCSR活動を積極的に推進する企業への支援を行います。さらに、横浜の優れた技能のブランド力向上・継承につながる取組を行います。

オ 市場の機能強化と活性化

本場青果部の屋内荷捌場や冷蔵保管庫等の整備を進め、品質・衛生管理向上を図るとともに、中央卸売市場の活性化に取り組みます。また、旧南部市場跡地を引き続き本場を補完する「加工・配送、流通の場」として活用し、市場機能を強化するとともに、民間事業者が整備する賑わい施設により、活性化を図ります。

カ 市内建設関連産業の活性化

中小企業診断士等の専門家派遣などを通して市内中小建設業の経営改善を進めるとともに、若年者の雇用確保を支援します。

個人市民税の所得階層別の納税義務者数

課税所得金額	30年度	
	納税義務者数 (人)	構成比 (%)
均等割のみ	75,685	3.9
10万円以下	63,469	3.3
10万円超～100万円以下	479,350	24.9
100万円超～200万円以下	488,938	25.4
200万円超～300万円以下	309,887	16.1
300万円超～400万円以下	176,434	9.2
400万円超～550万円以下	153,962	8.0
550万円超～700万円以下	69,243	3.6
700万円超～1,000万円以下	56,816	3.0
1,000万円超～	51,294	2.7
合計	1,925,078	100.0

※ 各年度の当初課税ベースの数値を基に作成

※ 課税所得金額とは、税率をかける前の課税標準額であり、収入額から、給与所得控除・公的年金等控除、社会保険料控除や扶養控除などを差し引いた金額です。

＜モデルケースにおける給与収入金額の目安＞

課税所得金額	単身者の場合	夫婦子2人（14歳、17歳）の場合
均等割のみ		
10万円以下	約100～約120万円	
10万円超～100万円以下	～約251万円	約212万円～約362万円
100万円超～200万円以下	～約410万円	～約505万円
200万円超～300万円以下	～約553万円	～約648万円
300万円超～400万円以下	～約691万円	～約774万円
400万円超～550万円以下	～約879万円	～約941万円
550万円超～700万円以下	～約1,058万円	～約1,110万円
700万円超～1,000万円以下	～約1,392万円	～約1,465万円
1,000万円超～	約1,392万円超～	約1,465万円～

個人市民税均等割の課税対象の下限額（非課税基準）

モデルケース	課税対象の下限額
単身の給与所得者	給与収入金額 100 万円以下 100 万円＝合計所得金額 35 万円（非課税基準） ＋65 万円（給与所得控除）
夫婦子 2 人の給与所得者	給与収入金額 256 万円未満 256 万円＝合計所得金額 161 万円（非課税基準） ＋95 万円（給与所得控除）
年齢 65 歳以上年金収入のみ （単身世帯）	年金収入金額 155 万円以下 155 万円＝合計所得金額 35 万円（非課税基準） ＋120 万円（公的年金等控除）
年齢 65 歳以上年金収入のみ （夫婦世帯、どちらか扶養）	年金収入金額 211 万円以下 211 万円＝合計所得金額 91 万円（非課税基準） ＋120 万円（公的年金等控除）

※ 非課税基準

- ・扶養家族のない人…前年の合計所得金額が 35 万円以下の人
- ・扶養家族のある人…前年の合計所得金額が 35 万円×（本人＋控除対象配偶者＋扶養親族数）＋21 万円以下の人

横浜みどり税の納税義務者数及び収入額（個人・法人）の推移
（25～29 年度）

	個人		法人	
	納税義務者数 （人）	収入額 （百万円）	納税義務者数 （社）	収入額 （百万円）
25 年度	1,818,949	1,631	34,496	582
26 年度	1,833,442	1,645	36,252	614
27 年度	1,849,245	1,658	98,363	978
28 年度	1,876,173	1,681	99,968	1,074
29 年度	1,900,638	1,701	101,418	1,081

※個人の納税義務者数は、各年 6 月当初人数

※25 年度及び 26 年度の法人の納税義務者数は、法人市民税の申告義務を負う全ての納税義務者数から、欠損法人数を除いた数

欠損法人の割合の推移(25~29年度)

	法人数 (社)	欠損法人数 [※] (社)	割合 (%) B/A
	A	B	
25年度	95,907	61,411	64.0%
26年度	96,858	60,606	62.6%
27年度	98,363	60,366	61.4%
28年度	99,968	59,776	59.8%
29年度	101,418	59,741	58.9%

※ 「欠損法人数」には、法人税割の課税対象外法人数（収益事業を行わない公益法人等）を含む

他の自治体で実施している課税自主権による「横浜みどり税」類似の税の一覧

【導入年度順】

No.	自治体名	税目名	税率(均等割)		導入年度
			個人	法人	
1	高知県	森林環境税	500円	500円	15年度
2	岡山県	おかやま森づくり県民税	500円	5%	16年度
3	鳥取県	森林環境保全税	500円	5%	17年度
4	島根県	水と緑の森づくり税	500円	5%	17年度
5	山口県	やまぐち森林づくり県民税	500円	5%	17年度
6	愛媛県	森林環境税	700円	7%	17年度
7	熊本県	水とみどりの森づくり税	500円	5%	17年度
8	鹿児島県	森林環境税	500円	5%	17年度
9	岩手県	いわての森林づくり県民税	1,000円	10%	18年度
10	静岡県	森林(もり)づくり県民税	400円	5%	18年度
11	宮崎県	森林環境税	500円	5%	18年度
12	福島県	森林環境税	1,000円	10%	18年度
13	滋賀県	琵琶湖森林づくり県民税	800円	11%	18年度
14	兵庫県	県民緑税	800円	10%	18年度
15	奈良県	森林環境税	500円	5%	18年度
16	大分県	森林環境税	500円	5%	18年度
17	神奈川県	水源環境を保全・再生するための個人県民税超過課税(水源環境保全税)	均等割:300円 所得割:0.025%	—	19年度
18	和歌山県	紀の国森づくり税	500円	5%	19年度

<裏面あり>

【導入年度順】

No.	自治体名	税目名	税率(均等割)		導入年度
			個人	法人	
19	石川県	いしかわ森林環境税	500円	5%	19年度
20	広島県	ひろしまの森づくり県民税	500円	5%	19年度
21	富山県	水と緑の森づくり税	500円	資本金等の額が10億円以下:5% 10億円超50億円以下:7.5% 50億円超100億円以下:10% 100億円超:12.5%	19年度
22	長崎県	ながさき森林環境税	500円	5%	19年度
23	山形県	やまがた緑環境税	1,000円	10%	19年度
24	福岡県	福岡県森林環境税	500円	5%	20年度
25	秋田県	秋田県水と緑の森づくり税	800円	8%	20年度
26	茨城県	茨城県森林湖沼環境税	1,000円	10%	20年度
27	長野県	長野県森林づくり県民税	500円	5%	20年度
28	佐賀県	佐賀県森林環境税	500円	5%	20年度
29	栃木県	とちぎの元気な森づくり県民税	700円	7%	20年度
30	愛知県	あいち森と緑づくり税	500円	5%	21年度
31	宮城県	みやぎ環境税	1,200円	10%	23年度
32	山梨県	森林環境税	500円	5%	24年度
33	岐阜県	清流の国ぎふ森林・環境税	1,000円	10%	24年度
34	群馬県	森林環境の保全に関する 県民税(ぐんま緑の県民 税)	700円	7%	26年度
35	三重県	みえ森と緑の県民税	1,000円	10%	26年度
36	大阪府	森林環境税	300円	—	28年度
37	京都府	京都府豊かな森を育てる 府民税	600円	—	28年度

消費税率 10%への引上げ時における本市歳入への影響 (法人課税・車体課税)

1 市税

税 目	内 容	適 用 時 期	影響額 (平年度ベース)
法人市民税	法人市民税法人税割の税率引下げ ・9.7%→6.0% ▲3.7% (法人市民税の交付税原資化)	平成 31 年 10 月 1 日以後に開始する 事業年度	約▲160 億円
軽自動車税	環境性能割の創設	平成 31 年 10 月～	約+2.5 億円

2 県税交付金

種 別	内 容	適 用 時 期	影響額 (平年度ベース)
法人事業税 交付金	法人事業税額の一部を市町村に交付する制度の創設	平成 31 年 10 月 1 日以後に開始する 事業年度	約+80 億円
自動車取得税 交付金	自動車取得税の廃止	平成 31 年 10 月～	約▲45 億円
自動車税 環境性能割 交付金	自動車税(県税)の一部を市町村に交付する制度の創設	平成 31 年 10 月～	約+30 億円

横浜みどり税の広報に係る実績について

1 広報に係る主な取組（ゴシック・アンダーラインは、平成 26 年度以降に新規・拡充した部分）

(1) 個人市民税の納税者への周知

- ア 税額通知書（給与分）への案内掲載（H21.5～）
- イ 税額決定・納税通知書への同封チラシに説明文掲載（H21.6～）
- ウ 税額決定・納税通知書へ案内掲載（H24.6～）

エ 税額通知書及び納税通知書への案内文見直し（H26.5～）

オ 納税通知書同封チラシの改善（H27.6～）

(2) 法人市民税の納税者への周知

- 法人申告書へのチラシ同封（H21.2～）

(3) 税務協力団体等への周知

- ア 会報誌への記事掲載（法人会 H21.5～、間税会・青色申告会・税理士会 H22.4～）
- イ 横浜市内税務協力 3 団体連絡協議会での周知（H21～）

(4) 市民向けパンフレットなど

- ア 「税の知識」にみどり税のページを掲載（H21.5～）

イ カラーチラシの作成・配布（H26.8～）

- ※ 区民まつり、子どもアドベンチャー等で配布（区民まつりでは、啓発グッズとして花の種もあわせて配布）

(5) 広報よこはま

- 広報（H21.2）、予算特別号（H21.4）、税務特別号（H21.5）、広報（H26.2）

(6) インターネット

- みどり税について市ホームページに掲載（H21.1 開設）

(7) 固定資産税の納税者への周知

- 納税通知書送付用封筒への案内掲載（H27.4～）

(8) その他

- ア 小学生向け租税教室でみどり税について説明（H26～）

- イ 横浜市就職セミナー・合同説明会（人事委員会事務局主催）でのチラシ配布（H28～）

- ウ 大学向け講座（財政局財政課主催）での、みどり税について説明（H26～H29）

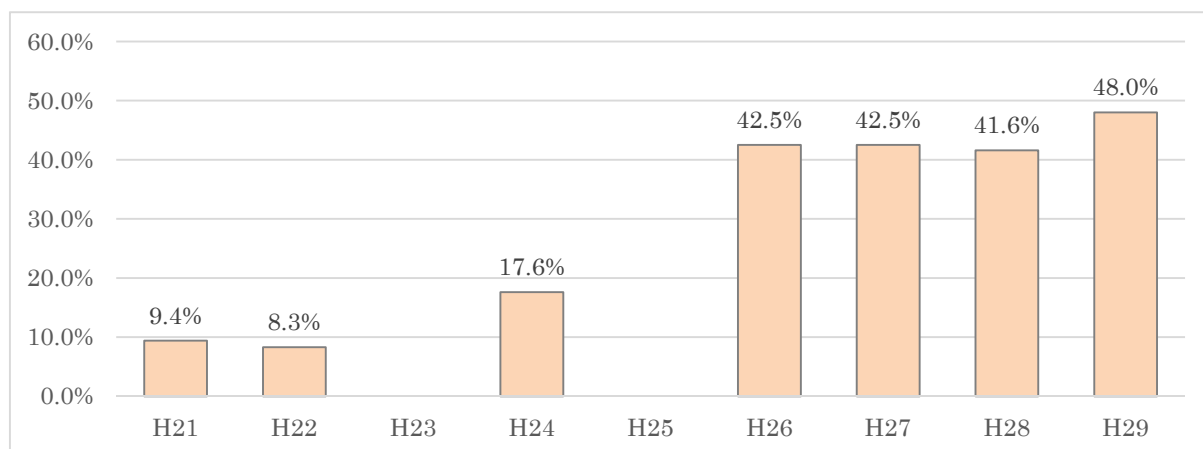
2 広報用資料等作成実績

作成資料	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
市民税の税額決定・納税通知書	75 万件	69 万件	67 万件	66 万件	67 万件
市民税の税額通知書（給与分）	112 万件	119 万件	125 万件	128 万件	130 万件
固定資産税納税通知書送付用封筒	—	122 万件	122 万件	120 万件	123 万件
市民向けチラシ	60,000 枚	30,000 枚	28,000 枚	18,000 枚	43,500 枚
法人向けチラシ	120,000 枚	120,000 枚	130,000 枚	130,000 枚	130,000 枚
税の知識	10,000 部	10,000 部	10,000 部	10,000 部	10,000 部

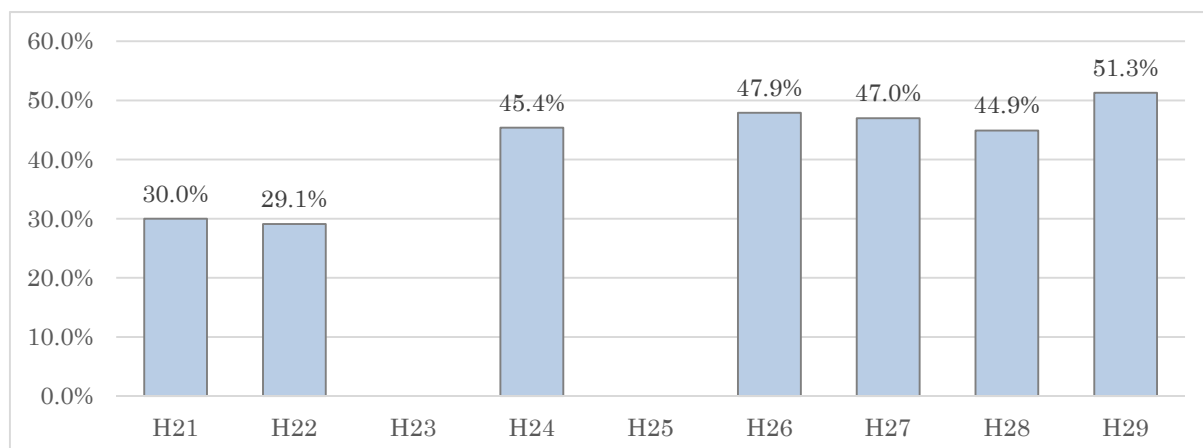
- ※ 上記のほか、環境創造局と協力し、環境創造局主催イベントなどで啓発を行っています。
（緑化フェア、スプリングフェア、みどりアップ月間（10～11 月）での交通広告の実施 など）

みどりアップ計画の認知度の推移

みどりアップ計画の認知度の推移



みどり税の認知度の推移



平成 21 年度調査 環境に関するアンケート調査

みどりアップ計画の認知度	9.4%
横浜みどり税の認知度	30.0%
調査期間	平成 22 年 3 月 12 日～3 月 17 日
調査方法	市民登録モニターによるインターネット調査
対象者及び回答者	市民登録モニターから 1,000 人が回答

平成 22 年度調査 環境に関するアンケート調査

みどりアップ計画の認知度	8.3%
横浜みどり税の認知度	29.1%
調査期間	平成 22 年 11 月 26 日～12 月 2 日
調査方法	市民登録モニターによるインターネット調査
対象者及び回答者	市民登録モニターから 1,022 人が回答

平成24年度調査 横浜の緑に関する市民意識調査

みどりアップ計画の認知度	17.6%
横浜みどり税の認知度	45.4% (計画・税両方を知っている 15.9% + 税のみを知っている 29.5%)
調査期間	平成24年7月6日～20日
調査方法	住民基本台帳及び外国人登録原票から無作為抽出した満20歳以上の市民を対象に郵送による調査
対象者及び回答者	対象者3,000人 回答者1,173人(回収率39.1%)

平成26年度調査 「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査

みどりアップ計画の認知度	42.5%
横浜みどり税の認知度	47.9%
調査期間	平成26年12月1日～19日
調査方法	住民基本台帳から無作為抽出した満20歳以上の市民を対象に郵送による調査
対象者及び回答者	対象者5,000人 回答者1,449人(回収率29.0%)

平成27年度調査 「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査

みどりアップ計画の認知度	42.5%
横浜みどり税の認知度	47.0%
調査期間	平成27年11月27日～12月18日
調査方法	住民基本台帳から無作為抽出した満20歳以上の市民を対象に郵送による調査
対象者及び回答者	対象者5,000人 回答者1,541人(回収率30.8%)

平成28年度調査 「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査

みどりアップ計画の認知度	41.6%
横浜みどり税の認知度	44.9%
調査期間	平成28年12月1日～12月22日
調査方法	住民基本台帳から無作為抽出した満20歳以上の市民を対象に郵送による調査
対象者及び回答者	対象者5,000人 回答者1,474人(回収率29.5%)

平成29年度調査 横浜の緑に関する市民意識調査

みどりアップ計画の認知度	48.0%
横浜みどり税の認知度	51.3%
調査期間	平成29年7月6日～21日
調査方法	住民基本台帳から無作為抽出した満20歳以上の市民を対象に郵送による調査
対象者及び回答者	対象者5,000人 回答者1,675人(回収率33.5%)

附帯意見に対する広報の取組実績及び今後の取組について

1 取組実績

(1) イベントなどによる広報

<イベント出展による PR 活動>

【平成 26 年度】

- ・よこはま花と緑の春フェスタ 2014（平成 26 年 4 月 11 日～4 月 13 日）
- ・環境行動フェスタ 2014（平成 26 年 6 月 14 日）
- ・子どもアドベンチャー2014（平成 26 年 8 月 19 日～8 月 20 日）
- ・みどりアップ月間 2014 期間中の各種イベント（平成 26 年 10 月～11 月に多数開催）
- ・野毛山動物園 第 10 回 動物たちの SOS 展（平成 27 年 3 月 14 日～3 月 15 日）
- ・金沢動物園開園感謝祭（平成 27 年 3 月 21 日）
- ・SATOYAMA & SATOUMI へ行こう 2015（平成 27 年 3 月 28 日～3 月 29 日）

【平成 27 年度】

- ・よこはま花と緑の春フェスタ 2015（平成 27 年 4 月 10 日～4 月 12 日）
- ・環境行動フェスタ 2015（平成 27 年 6 月 27 日）
- ・環境科学研究所施設公開（平成 27 年 8 月 2 日）
- ・子どもアドベンチャー2015（平成 27 年 8 月 18 日～8 月 19 日）
- ・みどりアップ月間 2015 期間中の各種イベント（平成 27 年 10 月～11 月に多数開催）
- ・野毛山動物園 第 11 回 動物たちの SOS 展（平成 28 年 3 月 13 日）
- ・金沢動物園春まつり（平成 28 年 3 月 19 日）

【平成 28 年度】

- ・よこはま花と緑の春フェスタ 2016（平成 28 年 4 月 15 日～4 月 17 日）
- ・横浜 F・マリノス「トリコロールランド」（平成 28 年 6 月 11 日）
- ・環境行動フェスタ 2016（平成 28 年 6 月 25 日）
- ・環境科学研究所施設公開（平成 28 年 8 月 7 日）
- ・子どもアドベンチャー2016（平成 28 年 8 月 17 日～8 月 18 日）
- ・みどりアップ月間 2016 期間中の各種イベント（平成 28 年 10 月～11 月に多数開催）
- ・野毛山動物園 第 12 回 動物たちの SOS 展（平成 29 年 3 月 5 日）
- ・金沢動物園春まつり（平成 29 年 3 月 18 日）

【平成 29 年度】

- ・全国都市緑化よこはまフェアでの PR（平成 29 年 3 月 24 日から 6 月 4 日）
- ・よこはま花と緑のスプリングフェア 2017（平成 29 年 4 月 7 日～4 月 9 日）
- ・子どもアドベンチャー2017（平成 29 年 8 月 17 日～8 月 18 日）
- ・里山ガーデン秋の大花壇公開（平成 29 年 9 月 22 日～10 月 22 日）
- ・はまりんフェスタ（平成 29 年 10 月 28 日）
- ・みどりアップ月間 2017 期間中の各種イベント（平成 29 年 10 月～11 月に多数開催）
- ・野毛山動物園 第 12 回 動物たちの SOS 展（平成 29 年 3 月 4 日～3 月 5 日）
- ・金沢動物園春まつり（平成 29 年 3 月 18 日～3 月 20 日）



【写真】全国都市緑化よこはまフェア（みなとガーデン）



【写真】よこはま花と緑のスプリングフェア 2017



【写真】はまりんフェスタ

<展示による PR 活動>

- ・グランモール公園内クロスパティオの期間展示
- ・市内全区役所に PR パネルの掲出
- ・市庁舎市民広間での展示
- ・図書館での企画展示

(2) 区役所、他局と連携した横浜みどり税の広報

- ・市連会・区連会での実績説明（環境創造局、各区税務課）
- ・イベントへの共同出展（環境創造局、財政局税務課）
- ・横浜みどり税 PR チラシの配布（財政局税務課）
- ・個人市民税納税通知書、税額決定通知書に案内掲載（財政局税務課）
- ・法人市民税申告書送付時にチラシ同封（財政局税務課）
- ・各区区民祭りでのブース出展（各区税務課）

(3) 各種媒体を活用した広報

＜広報誌等への掲載＞

【平成 26 年度】

- ・ 広報よこはま
(市版特集ページ：平成 26 年 5 月号、9 月号)
(区版：都筑区版 8 月号、戸塚区版 9 月号、港北区版 9 月号)
- ・ 季刊誌「みどり」(平成 26 年春号、秋号)
- ・ かんきょう横浜
(平成 26 年 7 月号、9 月号、平成 27 年 3 月号)
- ・ よこはま農委だより (平成 26 年 4 月号、11 月号)

【平成 27 年度】

- ・ 広報よこはま
(市版はま情報：平成 27 年 4 月号、市版特集ページ：平成 27 年 9 月号)
(区版：神奈川区版 7 月号、鶴見区版 7 月号、瀬谷区版 7 月号、
港北区版 8 月号、戸塚区版 9 月号・3 月号、旭区版 10 月号、
緑区版 8～3 月号(連載コラム))
- ・ 季刊誌「みどり」(平成 27 年春号、秋号)
- ・ かんきょう横浜
(平成 27 年 7 月号、9 月号、平成 28 年 3 月号)
- ・ よこはま農委だより (平成 27 年 11 月号)

【平成 28 年度】

- ・ 広報よこはま
(市版特集ページ：9 月号)
(区版：泉区版 6 月号、戸塚区版 9 月号・3 月号、神奈川区版 11 月号、
鶴見区版 12 月号、磯子区版 3 月号、緑区版 4～3 月号(連載コラム))
- ・ 季刊誌「みどり」(平成 28 年夏号、秋号)
- ・ かんきょう横浜
(平成 28 年 7 月号、9 月号、平成 29 年 3 月号)
- ・ よこはま農委だより (平成 28 年 11 月号)
- ・ 横浜音祭り 2016 公式プログラム (平成 28 年 9 月発行)

【平成 29 年度】

- ・ 広報よこはま
（市版特集ページ： 9 月号）
（区版： 栄区版 8 月号、戸塚区版 8 月号・ 9 月号、港北区版 9 月号、
緑区版 4～ 9 月号（連載コラム） ）
- ・ 季刊誌「みどり」（平成 29 年夏号、秋号）
- ・ かんきょう横浜
（平成 29 年 7 月号、9 月号、平成 30 年 3 月号）
- ・ よこはま農委だより（平成 29 年 11 月号）

<リーフレット・チラシ・報告書>

【平成 26 年度】

- ・ 平成 21～25 年度の実績概要リーフレット（140,000 部作成）
- ・ 5 か年（平成 21 年度～平成 25 年度）の事業・取組の評価
- ・ 平成 25 年度事業報告書

【平成 27 年度】

- ・ 平成 26 年度の実績概要リーフレット（140,000 部作成）
- ・ 平成 26 年度事業報告書

【平成 28 年度】

- ・ 平成 27 年度の実績概要リーフレット（140,000 部作成）
- ・ 平成 27 年度事業報告書

【平成 29 年度】

- ・ 平成 28 年度の実績概要リーフレットの自治会等での回覧
- ・ 平成 28 年度事業報告書



【図】平成 28 年度の実績概要リーフレット

<メディアを活用した広報>

- ・ 横断幕の掲出
動物園、水再生センター、ウェルカムセンター等に掲出
- ・ 市営バス、公用車等への PR 用マグネットシートの貼付掲出（約 4000 枚配布）
（平成 24 年 11 月～）
- ・ TVK ハマナビでの「みどりアップ」特集（平成 26 年度）
- ・ ニッポン放送での PRCM（平成 26 年度）



【写真】横断幕掲出の様子

- ・ FM 横浜「YOKOHAMA My Choice！」での特集（平成 27 年度）
- ・ ニッポン放送「ようこそ横浜」での地産地消の取組紹介（平成 27 年度）
- ・ 横浜みどりアップ計画メールマガジンの発行
（月 2 回、1 日と 15 日に発行）
- ・ ツイッターを活用した広報
- ・ PRTIMES（プレスリリース配信サービス）を活用したイベント周知（平成 29 年度）
- ・ 日産スタジアムでの広告設置（平成 30 年 3 月から）

<事業実施場所での PR>

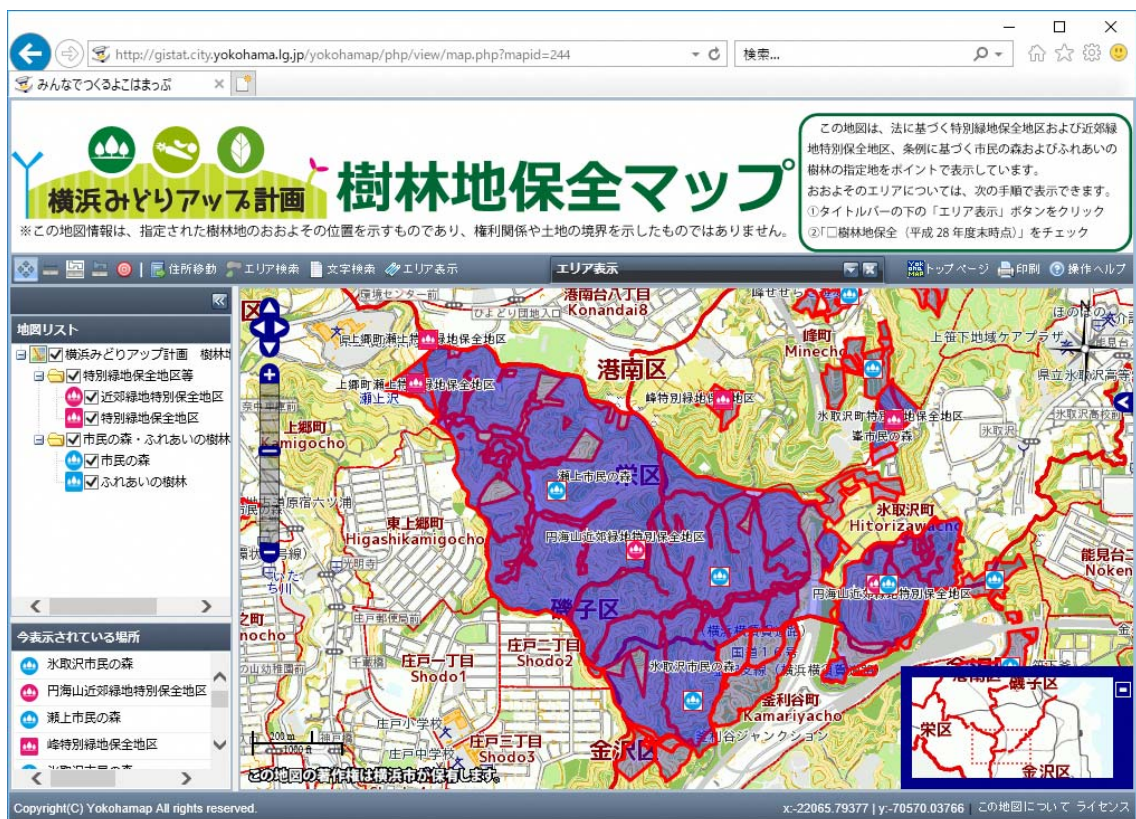
- ・ 事業実施場所でのみどりアップ計画で実施したことを示す現地表示の実施



【図】実施場所での現地表示

<指定した樹林地の場所を示したマップの作成・ウェブサイトでの公開>

- ・ みどりアップ計画で指定した樹林地の場所を示した樹林地保全マップを作成し、ウェブサイト上で公開しました（平成 27 年度から実施）



(4) マスコットキャラクターを活用した広報

市民の皆様に、より横浜みどりアップに親しんでいただけるよう、マスコットキャラクター「横浜みどりアップ葉っぱー」を作成し、平成27年6月の環境行動フェスタ2015でお披露目しました。その後も各イベントで活用し、より幅広い層に横浜みどりアップ計画をPRしました。また、リーフレットやみどりアップ月間・交通広告のポスター等にキャラクターのイラストを使用し、より市民の目に留まる工夫をしました。



【写真】はまりん号貸切車内
ポスター

<横浜みどりアップ葉っぱーのプロフィール>

生まれたところ：横浜の森で目覚めた

何者？：森の妖精

年齢：妖精なのでわからない

誕生日：6月20日

体重：88g 身長：64cm

(妖精なので、身長体重は自在に変えることができる。)

性格：普段は天真爛漫で明るいですが、水がなくなると元気がなくなる

好きなこと：日向ぼっこ（光合成）

チャームポイント：葉脈

特技：魔法の花で緑を増やす

仲間：色々な生き物と友達



横浜みどりアップ 葉っぱー

(5)映像を活用した PR

【平成 27 年度】

＜プロモーションビデオの制作＞

取組の更なる周知を目的にプロモーションビデオを作成し、各区役所・市立学校等へ配布しました。また、YouTube の横浜市公式アカウント「[@CityOfYokohama](#)」でも動画を公開しました。

【平成 28、29 年度】

＜プロモーションビデオの活用＞

- ・プロモーションビデオの放映

視覚的にみどりアップ計画の取組に親しんでいただくため、イベント等でプロモーションビデオを放映しました。

- ・CM 用プロモーション動画の制作

新たに 15 秒、30 秒の CM 用プロモーション動画を作成し、区役所、デジタルサイネージや横浜市営地下鉄ブルーライン等の車内ビジョン、グリーンラインのグリーンビジョンで放映しました。

- ・QR コードを活用した取組

リーフレットや広報紙に QR コードを記載し、YouTube でプロモーションビデオをご覧いただけるよう工夫しました。



【図】プロモーションビデオ

＜ハンド・メイドアニメーション・グランプリを通じた PR＞

- ・横浜賞の募集

若手アニメーション作家の育成・支援を目的としたショートアニメーションのコンテスト、「ハンドメイド・アニメーション・グランプリ (HAG)」に横浜賞環境創造部門を設け、「横浜みどりアップ」をテーマに作品案を募集しました。



【図】横浜みどりアップのアニメーション(HAG2017)

- ・アニメーションの活用

受賞者によって制作されたアニメーションは、首都圏 26 館のイオンシネマで放映された他、桜木町駅の観光案内所等のデジタルサイネージも活用しました。また、Youtube でも公開しています。

- ・アニメーションデザインを用いた新たな広報

アニメーションのデザインを活用し、PR 用のクリアファイル、イベントのチラシを作成しました。今後も複数の媒体でデザインを活用し、アニメーションとの相乗効果を意識した PR を実施します。

(6)みどりアップ月間

横浜みどりアップ計画と横浜みどり税に対する市民・法人へのPRを推進するとともに、緑の保全・創造に対する市民協働の輪を拡げながら、活動団体、土地所有者等を含めた市民共通理解の促進を図ることを目的として、みどりアップ月間を設置しています。

<概要>

【期 間】 毎年 10 月～11 月

【主な内容】

- ・集中的な広報による PR の強化
鉄道・バスなどの交通広告、苗木配布、クラフト教室、ポスター掲示、各種パンフレット・チラシの発行など
- ・みどりアップ月間のコアイベントの実施
農と緑のふれあい祭り
- ・イベント相互間の連携による相乗効果の発揮
よこはま森の楽校、よこはま食と農の祭典 2014、みなとみらい農家朝市収穫祭等

<主なイベント実績>

【平成 26 年度】

日付	イベント名	内容	開催場所
11 月 3 日(月・祝)	農と緑のふれあい祭り	野菜収穫体験、自然素材の工作教室、音楽のステージイベントなど、横浜の緑や農業に身近に感じられる様々な催し物を開催。 (参加者：約 13,000 人)	保土ケ谷区 児童遊園地、 環境活動支援センター
11 月 9 日(日)	寺家ふるさと村ガイドツアー	寺家ふるさと村内のガイドツアーを実施。	青葉区寺家ふるさと村
11 月 15 日(土)	よこはま食と農の祭典 2014	「地産地消」の推進を目的に、横浜の農業に関するクイズや地元食材を使った逸品の試食、農家による市内産野菜などの販売を実施。 (参加者：約 6,000 人)	西区 みなとみらいクイーンズサークルほか
11 月 23 日(日)	みなとみらい農家朝市収穫祭	市内産の野菜・果樹・加工品などの販売。	西区 高島中央公園
	よこはま森の楽校	地域特性をいかした環境教育の一環として、みどりに親しむワークショップを市内の大学生などが実施。(参加者：約 2,400 人)	西区 みなとみらいクイーンズサークルほか
11 月 29 日(土)	みどりアップ健康ウォーキング「ほどがやの自然観察ウォーク」	植物など自然に関するレクチャーを受けながら、市内の豊かな自然を楽しむウォーキングイベント。	保土ケ谷区

【平成 27 年度】

日付	イベント名	内容	開催場所
10月25日(日)	ドングリ博士と行く！ 京浜の森の宝探し	京浜地区にて植樹した緑地の見学、生きもの調査などを実施	京浜地区（鶴見区・神奈川区）
10月25日(日)	みなとみらい農家朝市収穫祭	市内産の野菜・果樹・加工品などの販売	西区 高島中央公園
11月3日(火・祝)	農と緑のふれあい祭り	野菜収穫体験、自然素材の工作教室など、横浜の緑や農業を身近に感じられる様々な催し物を開催 (参加者：約 13,000 人)	保土ケ谷区 児童遊園地、 環境活動支援センター
11月14日(土)	よこはま食と農の祭典 2015	「地産地消」の推進を目的に、横浜の農業に関するクイズ等のステージイベントや地産地消に取り組む企業等によるPR展示、農家による市内産野菜などの販売を実施 (参加者：約4,000 人)	西区 みなとみらいクイーンズサークル、クイーンズパーク
11月22日(日)	よこはま森の楽校 ～元気もりもり！横浜の森～	森の魅力や役割を伝えるみどりに親しむワークショップを市内の大学生などが実施 (参加者：約 3,000 人)	西区 みなとみらいクイーンズサークル、クイーンズパーク
11月28日(土)	みどりアップ健康ウォーキング 「朝日を感じて旭ウォーキング」	植物など自然に関するレクチャーを受け、市内の豊かな自然を楽しみながらのウォーキング	旭区 市沢ふれあいの樹林、 鶴ヶ峰ふれあいの樹林等

【平成 28 年度】

日付	イベント名	内容	開催場所
10月10日(月)	自然観察の森開園30周年記念 トークショー	横浜自然観察の森にゆかりのある柳生博氏ら3人が森を訪れる楽しさについて語る。	横浜市開港記念会館 講堂
10月23日(日)	みどりアップ健康ウォーキング 「かながわ区 秋の自然散策」	植物などの自然観察をしながら、市内の豊かな自然を楽しむウォーキング。	岸根公園駅（スタート） ～神奈川スポーツセンター（ゴール）
10月23日(日)	みなとみらい農家朝市収穫祭	毎月第4日曜日に開催の、みなとみらい農家朝市の拡大版。横浜野菜のカレースープを提供。	高島中央公園
11月3日(木)	馬車道まつり 木のマイスプーンづくり教室	間伐材でマイスプーンづくり。	馬車道商店街
11月3日(木)	農と緑のふれあい祭り	野菜の収穫体験や農畜産物の販売、自然素材を利用した工作教室などを実施。	環境活動支援センター、 横浜市児童遊園地、こども植物園
11月6日(日)	季節の森を歩こう	季節の生きもののつながりを楽しむガイドツアー	横浜自然観察の森
11月13日(日)	みんなでバードウォッチング	森の野鳥を観察し、親しみます。	横浜自然観察の森
11月20日(日)	よこはま森の楽校 ～楽しいこと森だくさん！～	大学生が主体となって企画し、森の恵みを生かしたクラフトづくりやワークショップを開催。	クイーンズサークル
10月1日(土)～ 11月30日(水)	ウェルカムセンター5館回遊スタンプラリー	市内5か所のウェルカムセンターで、10～11月のみどりアップ月間に合わせてスタンプラリーを開催	・寺家ふるさと村四季の家 ・新治里山公園 にはる里山交流センター ・環境活動支援センター ・舞岡ふるさと村 虹の家 ・横浜自然観察の森 自然観察センター

【平成 29 年度】

日付	イベント名	内容	開催場所
9月22日(金) ～10月22日 (日)	里山ガーデン秋の大花壇	里山ガーデンの大花壇の公開にあわせて、 パネル展示やワークショップの開催	里山ガーデン
10月21日(土)	みどりアップ健康ウォーキング in 泉区	植物などの自然観察をしながら、市内の 豊かな自然を楽しむウォーキング	下飯田駅(スタート)～ 俣野別邸庭園(ゴール)
11月23日 (木・祝)	みどりアップ健康ウォーキング in 瀬谷区		瀬谷駅(スタート)～ 三ツ境駅(ゴール)
11月3日(金・ 祝)	馬車道まつり 木のマイスプーンづくり教室	間伐材でマイスプーンづくり。	馬車道商店街
11月3日(金・ 祝)	農と緑のふれあい祭り	野菜の収穫体験や農畜産物の販売、自然 素材を利用した工作教室などを実施。	環境活動支援センター、 横浜市児童遊園地、こども植物園
11月18日 (土)・19日(日)	よこはま食と農の祭典 2017	新鮮でおいしい横浜野菜や加工品の販 売、市内産の花や植木の展示などを実施	北仲通北第二公園 他
11月19日(日)	よこはま森の楽校 ～みんなでふれあおう 横濱の もい～	大学生が主体となって企画し、森の恵み を生かしたクラフトづくりやワークショ ップを開催	クイーンズサークル
10月1日(日) ～ 11月30日(木)	ウェルカムセンター5館回遊ス タンプラリー	市内5か所のウェルカムセンターで、10 ～11月のみどりアップ月間に合わせて スタンプラリーを開催	・寺家ふるさと村四季の家 ・新治里山公園 にいはる里山交流センタ ー ・環境活動支援センター ・舞岡ふるさと村 虹の家 ・横浜自然観察の森 自然観察センター



【写真】農と緑のふれあい祭り



【写真】里山ガーデン秋の大花壇でのPR



【写真】よこはま森の学校

(7)交通広告を活用した広報

特に若年層を中心により幅広い層に取組を PR するため、みどりアップ月間に合わせ 9 月～11 月にかけて集中的に交通広告を活用した広報を実施しました。

< 掲出実績 >

【平成 26 年度】

市営地下鉄

- ・ブルーラインはまりん号貸切車内ポスター（平成 26 年 10 月 28 日～11 月 10 日）
- ・ブルーライン横浜駅ホームドア（平成 26 年 10 月 28 日～11 月 10 日）
- ・ブルーライン LED 広告（平成 26 年 10 月 28 日～11 月 10 日）
- ・グリーンライン グリーンビジョン映像放映（平成 26 年 10 月 1 日～11 月 30 日）
- ・グリーンラインドア横車内ポスター（平成 26 年 10 月 7 日～11 月 17 日）

市営バス

- ・パートラッピングバス（平成 26 年 9 月 1 日～11 月 30 日）
- ・バス車内ポスター(窓上広告)（平成 26 年 9 月 30 日～12 月 1 日）

京浜急行

- ・中吊りポスター（平成 26 年 10 月 31 日～11 月 2 日）

相模鉄道

- ・中吊りポスター（平成 26 年 9 月 28 日～10 月 28 日）

みなとみらい線

- ・駅貼りポスター（平成 26 年 11 月）

シーサイドライン

- ・駅貼りポスター（平成 26 年 10 月、11 月）

【平成 27 年度】

市営地下鉄

- ・ブルーラインはまりん号貸切車内ポスター（平成 27 年 10 月 13 日～10 月 26 日）
- ・ブルーライン横浜駅・戸塚駅ホームドア（平成 27 年 10 月 28 日～11 月 10 日）
- ・ブルーライン LED 広告（平成 27 年 10 月 1 日～11 月 30 日）
- ・グリーンライン グリーンビジョン映像放映（平成 27 年 10 月 2 日～11 月 26 日）

市営バス

- ・パートラッピングバス（平成 27 年 9 月 1 日～11 月 30 日）
- ・バス車内ポスター(額面広告)（平成 27 年 9 月 29 日～12 月 1 日）

京浜急行

- ・窓上ポスター（平成 27 年 11 月 1 日～11 月 30 日）

相模鉄道

- ・中吊りポスター（平成 27 年 9 月 28 日～10 月 28 日）

みなとみらい線

- ・駅貼りポスター（平成 27 年 11 月）

シーサイドライン

- ・駅貼りポスター（平成 27 年 10 月、11 月）

【平成 28 年度】

市営地下鉄

- ・ブルーラインはまりん号貸切車内ポスター（平成 28 年 10 月 11 日～10 月 24 日）
- ・ブルーライン横浜駅・戸塚駅ホームドア（平成 28 年 10 月 28 日～11 月 10 日）
- ・ブルーライン LED 広告（平成 28 年 10 月 1 日～11 月 30 日）
- ・グリーンライン グリーンビジョン映像放映（平成 28 年 10 月 2 日～11 月 26 日）

市営バス

- ・パートラッピングバス 10 台（平成 28 年 9 月 1 日～11 月 30 日）
- ・バス車内ポスター(額面広告)（平成 28 年 9 月 30 日～12 月 1 日）

相模鉄道

- ・中吊りポスター（平成 28 年 10 月 4 日～10 月 25 日）
- ・駅貼りポスター（平成 28 年 10 月 5 日～10 月 25 日）

東急東横線

- ・窓上ポスター（平成 28 年 10 月 19 日～11 月 15 日）

みなとみらい線

- ・駅貼りポスター（平成 28 年 10 月 17 日～11 月 20 日）

シーサイドライン

- ・駅貼りポスター（平成 28 年 10 月 24 日～11 月 20 日）

【平成 29 年度】

市営地下鉄

- ・ブルーライン・グリーンラインアドトレイン貸切車内ポスター
（平成 29 年 10 月 17 日～10 月 30 日）
- ・ブルーライン横浜駅・戸塚駅ホームドア（平成 29 年 10 月 18 日～10 月 31 日）
- ・ブルーライン LED 広告（平成 29 年 10 月 10 日～11 月 30 日）
- ・ブルーライン ブルービジョン及びグリーンライン グリーンビジョン映像放映
（平成 29 年 10 月 10 日～11 月 30 日）

市営バス

- ・バス車内ポスター(窓上広告・全車)（平成 29 年 10 月 10 日～11 月 30 日）

相模鉄道

- ・中吊りポスター（平成 29 年 10 月 8 日～10 月 25 日）
- ・駅貼りポスター（平成 29 年 10 月 8 日～10 月 25 日）

京浜急行線

- ・窓上ポスター（平成 29 年 11 月 1 日～11 月 30 日）

みなとみらい線

- ・駅貼りポスター（平成 29 年 10 月 16 日～11 月 19 日）

シーサイドライン

- ・駅貼りポスター（平成 29 年 10 月 23 日～11 月 17 日）



【写真】市営地下鉄車内ビジョン



【写真】はまりん号貸切
車内ポスター



【写真】ホームドア広告
（横浜駅）

2 今後の取組

(1) 広報戦略

<目標>

- ・計画の取組の内容や実績について、効果的な手法を用いてお知らせし、理解を深めてもらう
- ・緑に関わる活動に参加するきっかけとなる機会を提供する
- ・緑を楽しみ育んでいく文化やライフスタイルの普及啓発

<広報の方針>

- ・対象に応じて効果的な媒体を選択する
- ・計画の成果を感じてもらえる機会の提供
- ・ガーデンネックレスや横浜農場などと連携した積極的な広報展開

(2) 対象別広報戦略

対象	年代・属性	テーマ	媒体
非認知層	20～30代	計画って何？	広告、雑誌メディア等の活用 SNSによる発信、動画の配信
認知層	50～70代	緑の活動に参加して、 みんなに伝えて	自治会・町内会での回覧 イベント等を通じた緑の活動への誘導
納税者	20～50代 (納税者)	横浜みどり税の内容 横浜みどり税の用途	個人市民税納税通知書等に案内掲載 法人市民税申告書送付時にチラシ同封 広報よこはま
ファミリー層	20～40代 (家族)	家族と楽しみながら 緑を身近に感じて	イベントを通して関心を持ってもらう マスコットキャラクターの活用 SNS
学生	10～30代 (学生)	緑の大切さをじっくり 学ぼう	教育機関との連携 イベント等を通して取組を知ってもらう
市民全般	全世代	発行時期に応じてテーマを設定	広報よこはま
市民全般 ／首都圏	全世代	横浜への愛着、シビック プライド、選ばれる都市へ	PR動画やアニメーションCMの放映

(3) 年間広報スケジュール(案)

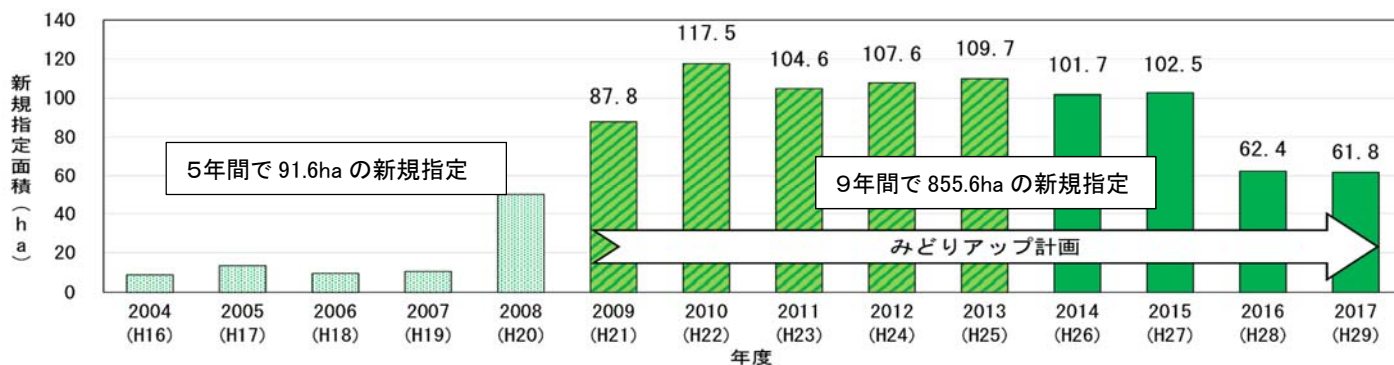
数値等は平成29年度実績を記載

実施主体	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1～3月
環境創造局・財政局	<ul style="list-style-type: none"> 市連合町内会・区連合町内会説明 成果概要リーフレット自治会・町内会回覧(約11万部) 	<ul style="list-style-type: none"> 広報よこはま市版(4か年実績の報告:約156万部) 区別実績パネル配布(18区) 事業報告書配布(250部) (区役所等に約250部を配架) 	<ul style="list-style-type: none"> 市民意識調査で市からの情報を得る手段として割合が多かった広報よこはまを通じて事業の紹介、実績の報告 	
広報誌等	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い年齢層に確実にアプローチするため、事業実績を紹介する成果概要リーフレットの自治会・町内会回覧、各区役所等市内500箇所以上のPRボックスへの配架を実施 			
各イベントでリーフレット配布やパネル展示等を通じて参加者に「横浜みどりアップ計画」についてのPRを実施				
イベント	<ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹配布(18区、4355人) 森の楽しみづくり(間伐材のクラフト教室、親子向けイベント、ウォーキングイベント:計32回、2616人) 	<ul style="list-style-type: none"> 森の楽しみづくり(間伐材のクラフト教室、親子向けイベント、図書館との連携イベント、ウォーキングイベント:計41回、3050人) 子どもを育む空間での緑の創出事業(親子芝生体験イベント89人) 子どもアドベンチャー(2日間で891人) 環境科学研究所施設公開(573人) 	<ul style="list-style-type: none"> よこはま森の楽校成果発表会(3,500人) クロスパティオ展示 人生記念樹配布(18区、2,988人) 森の楽しみづくり(間伐材のクラフト教室、親子向けイベント、ウォーキングイベント:計38回、6474人) チュールリップの球根植え付けイベント ウェルカムセンター5館回遊スタンプラリー 	<ul style="list-style-type: none"> みなとみらい農家朝市感謝祭 森の楽しみづくり(間伐材のクラフト教室、親子向けイベント、ウォーキングイベント:計12回、973人) 野毛山動物園 第12回 動物たちのSOS展への出展 金沢動物園春まつりへの出展
環境創造局	<ul style="list-style-type: none"> 里山ガーデンフェスタでのPR 花と緑のスプリングフェアでのPR(イベント来場者数約5.5万人) ローズウィークでのPR 花と緑をPRする冊子での掲載(20,000部) 	<ul style="list-style-type: none"> オープンガーデン事業(緑区) 	<ul style="list-style-type: none"> 里山ガーデンフェスタでのPR 里山ガーデン大花壇 	<ul style="list-style-type: none"> 里山ガーデンフェスタでのPR(10月)
(通年)	地域に根差した緑や花の楽しみづくり			
横浜農場	<ul style="list-style-type: none"> はまふうどナビ 		<ul style="list-style-type: none"> 農と緑のふれあい祭り(約15,000人) よこはま食と農の祭典(約10,000人) はまふうどナビ 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜食と農のフォーラム はまふうどナビ
SNSやwebを用いた広報	メールマガジン(みどりアップメールマガジン、森のニュースレター、はまふうどナビ)の発行(登録数:合計8080件[9月4日時点])			
その他	<ul style="list-style-type: none"> 実施場所での現地表示 「みどりアップ計画」及びみどり税の効果を実感していただくため、事業実施箇所のみどりアップ計画で実施したことを示す看板を設置。 	<ul style="list-style-type: none"> 樹林地保全マップによる特別緑地保全地区等の保全実績の公表 「みどりアップ計画」により指定した樹林地のマップを制作し、ウェブサイトで公開 	<ul style="list-style-type: none"> 動画アニメーションの配信 	<ul style="list-style-type: none"> 横断幕等の掲出 公共施設など多くの市民の目される場所に掲出
通年事業	ウェルカムセンターでの森の情報発信・イベント開催			
財政局	<ul style="list-style-type: none"> 税理士会会報(5月)への記事掲載 税務協力団体(法人会)会報(5月)への記事掲載 税の知識発行、横浜みどり税のページ掲載(約10,000部) 市県民税の納税通知書・税額通知書へ案内掲載(約200万通) 固定資産税の納税通知書送付用封筒へ案内掲載(約120万通) 申告書送付時におけるチラシ封入(約5万3千通) 大学向け講座(財政局財政課主催)にて、みどり税について説明 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもアドベンチャー開催時におけるチラシ及び啓発グッズの配布(約230名) 	<ul style="list-style-type: none"> 税理士会会報(10月)への記事掲載 税務協力団体(法人会)会報(10月～11月)への記事掲載 「法人会、青色申告会、間税会各横浜市連絡協議会と横浜市との会議」席上にて説明及び広報依頼(10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市就職セミナー・合同説明会(横浜市人事委員会事務局主催)での参加者へのチラシ配布(約500部) 税理士会会報(3月)への記事掲載
区役所・他局他	<ul style="list-style-type: none"> 広報よこはま区版 	<ul style="list-style-type: none"> 広報よこはま区版 	<ul style="list-style-type: none"> 広報よこはま区版 小学校入学予定者へ申込リーフレット送付(市内各小学校・特別支援学校約35,000枚) 	<ul style="list-style-type: none"> 広報よこはま区版
企業・市民団体等	<ul style="list-style-type: none"> 区役所イベントでPR(瀬谷区、南区) 	<ul style="list-style-type: none"> 区民まつり(南区) 	<ul style="list-style-type: none"> 区民まつり(南区以外の15区) 	
市民推進会議	<ul style="list-style-type: none"> 季刊誌みどり春号(記事掲載、13,600部、横浜市緑の協会) 横浜マルシェ、鴨居マルシェ(4月開始で原則月1回開催) 横浜農協野菜部主催ハウス果菜いちご持寄り品評会 横浜農協主催野菜部持寄り品評会 農業教室(新治、田奈で複数回実施) 	<ul style="list-style-type: none"> 季刊誌みどり夏号(記事掲載、13,600部、横浜市緑の協会) かんきょう横浜 7月号(記事掲載、環境保全協議会) トンボ捕り大作戦(トンボはドコまで飛ぶかフォーラム主催) 横浜市園芸協会浜なし持寄り品評会 浜なしを使用したゼリーの発売 農業教室、農産加工教室(新治、田奈で複数回実施) 	<ul style="list-style-type: none"> 季刊誌みどり 秋号(記事掲載、13,600部、横浜市緑の協会) 農委だより 10月号(記事掲載、農業委員会) かんきょう横浜 11月号(記事掲載、環境保全協議会) 横浜農協植木部秋季植木持寄り品評会 横浜農協秋季果樹持寄り品評会 横浜市園芸協会横浜花き展覧会 	<ul style="list-style-type: none"> 季刊誌みどり 新年号(記事掲載、13,600部、横浜市緑の協会) 神奈川県植木品評会(神奈川県植木生産組合連合会) 農業教室、農産加工教室(新治、田奈で複数回実施予定) みなとみらい農家朝市感謝祭(朝市は毎月開催) Yokohama Strawberry Festival
市民推進会議	<ul style="list-style-type: none"> みどりアップQ(9月:21,000部) 	<ul style="list-style-type: none"> みどりアップQ(12月:21,000部) 	<ul style="list-style-type: none"> みどりアップQ(2月:21,000部) 	

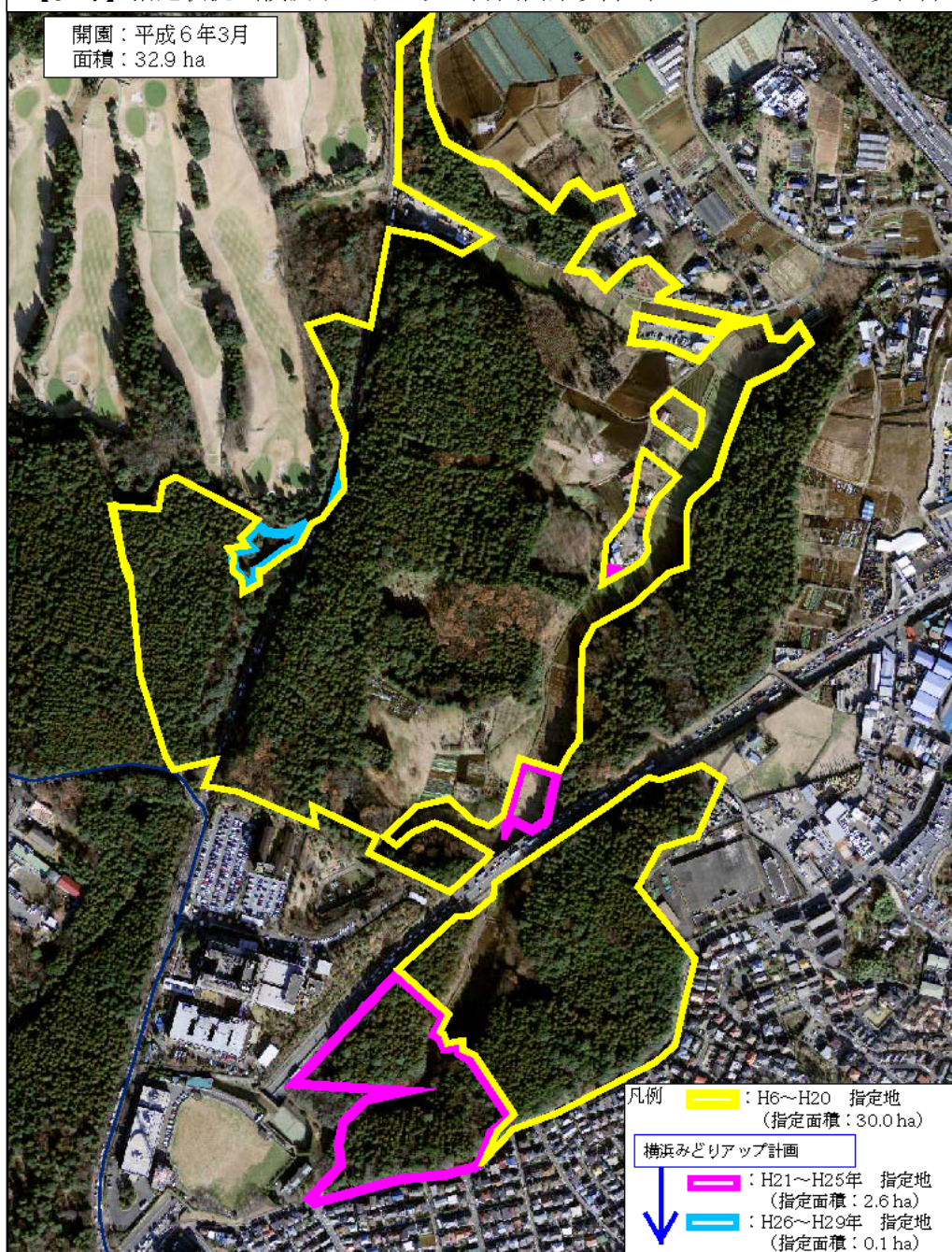
樹林地保全の実績及び指定・買取面積の考え方

1. 樹林地保全の実績について

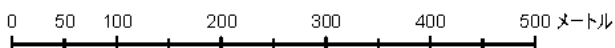
緑地保全制度による新規指定等の面積推移



【参考】指定状況（横浜みどりアップ計画開始以降（H21～H29.11.30 現在））



この図面は位置的なものを示すものであり、権利関係には使用できません



2. これからの緑の取組[2019-2023]（案）における指定・買取面積の考え方について

(1) 指定面積【300ha／5か年】

現計画での指定実績や、近年は比較的小規模な樹林地で働きかけを進めている案件が増えてきたことなどを勘案し、緑の10大拠点内の樹林地や、市街化区域内の身近なまとまりのある樹林地の指定を重点的に推進し、5か年で300haの新規指定を目標としています。

【特別緑地保全地区の1地区あたりの指定面積推移】

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計
地区数	2	10	9	10	25	24	37	18	21	156
面積(ha)	15.1	28.6	20.9	12	39.3	40.7	62.5	18.4	28.1	265.6
平均 (ha/地区)	7.5	2.9	2.3	1.2	1.6	1.7	1.7	1.0	1.3	1.8
	2.1ha/地区					1.5ha/地区				

(2) 買取面積【113ha／5か年（想定）】

これまでの実績から、買入れ申し出は、買取対象となりうる樹林地（※1）の面積に対して、約5%の割合で発生しており、2019～2023（平成31～35）年度の5か年で113haの買取りを想定しています。

（※1）買取対象となりうる樹林地とは、買取対象となる制度（特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区、市民の森、ふれあいの樹林のいずれかの緑地保全制度）により指定した樹林地

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
買取対象となりうる樹林地の面積(ha)	291.9	339.0	359.6	363.7	378.8	384.3	421.1	448.6
買取面積(ha) (大規模取得除く)	7.6	15.2	19.9	23.7	17.2	17.0	22.9	24.7
買取率	2.60%	4.48%	5.53%	6.52%	4.54%	4.42%	5.44%	5.51%

H21～28の平均買取率： 4.88%

【買取想定面積の算出（H21～28実績を元に算出）】

	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	合計
買取対象となりうる樹林地の面積(ha)	458.7	455.8	453	450.3	447.8	-
指定想定面積(ha) (※2)	20	20	20	20	20	100
買取想定面積(ha)	22.9	22.8	22.6	22.5	22.4	113.2

（※2）指定想定面積とは、買取対象となる制度（特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区、市民の森、ふれあいの樹林のいずれかの緑地保全制度）により指定した樹林地の面積で、H21～28の実績を踏まえて20ha/年と想定

横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）で、買い取った樹林地の面積と金額（個人・法人の別）

平成26年度

No.	年度	買取地区	個人/企業	面積(m ²)	金額(円)
1	26	新治市民の森	個人	2,903.53	45,295,068
2	26	菅田町出戸谷特別緑地保全地区	個人	977.68	18,966,992
3	26	飯島町特別緑地保全地区	大和ハウス工業(株)	775.35	36,053,775
4	26	新橋市民の森	個人	1,370.61	23,985,675
5	26	池部町八所谷戸特別緑地保全地区	個人	3,559.48	58,003,894
6	26	市沢町特別緑地保全地区	日本カーリット(株)	9,261.85	278,035,779
7	26	獅子ヶ谷市民の森	個人	306.74	13,496,560
8	26	獅子ヶ谷市民の森	個人	1,621.08	50,094,504
9	26	篠原城址特別緑地保全地区(予定地)	個人	1,126.09	36,485,316
10	26	獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区	個人	870.71	16,561,748
11	26	東寺尾ふれあいの樹林	個人	872.77	96,004,700
12	26	恩田東部特別緑地保全地区	個人	600.00	10,740,000
13	26	恩田東部特別緑地保全地区	個人	3,242.20	54,793,180
14	26	恩田東部特別緑地保全地区	個人	2,842.86	48,044,334
15	26	恩田東部特別緑地保全地区	個人	1,901.74	32,139,406
16	26	恩田東部特別緑地保全地区	個人	826.42	13,966,498
17	26	池部町滝ヶ谷戸特別緑地保全地区	個人	3,139.29	54,937,575
18	26	寺家特別緑地保全地区	個人	334.47	5,284,626
19	26	恩田東部特別緑地保全地区	個人	1,440.62	25,787,098
20	26	寺家特別緑地保全地区	個人	165.52	2,615,216
21	26	寺家特別緑地保全地区	個人	165.46	2,614,268
22	26	池部町八所谷戸特別緑地保全地区	個人	755.41	8,611,674
23	26	獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区	個人	1,641.50	28,562,100
24	26	猪子山特別緑地保全地区	個人	166.81	22,185,730
25	26	瀬谷市民の森	個人	1,150.12	97,645,188
26	26	三枚町特別緑地保全地区	個人	8,560.62	152,963,448
27	26	川島町特別緑地保全地区	個人	8,926.91	296,373,412
28	26	三枚町特別緑地保全地区	個人	695.73	8,766,198
29	26	三枚町特別緑地保全地区	個人	72.24	917,448
30	26	三枚町特別緑地保全地区	個人	364.78	10,778,453
31	26	東寺尾ふれあいの樹林	個人	4,371.71	372,032,521
32	26	三枚町特別緑地保全地区	個人	2,677.87	68,098,225
33	26	三枚町特別緑地保全地区	個人	958.91	18,411,072
34	26	三枚町特別緑地保全地区	個人	1,778.77	34,330,261
35	26	三枚町特別緑地保全地区	個人	1,291.09	41,573,098
36	26	獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区	個人	2,038.93	28,545,020

37	26	三枚町特別緑地保全地区	個人	1,109.69	16,201,474
38	26	鴨居四丁目特別緑地保全地区	個人	893.79	33,964,020
39	26	三枚町特別緑地保全地区	個人	2,689.74	57,291,462
40	26	三枚町特別緑地保全地区	個人	448.16	9,952,196
41	26	三枚町特別緑地保全地区	個人	753.31	24,783,899
42	26	三枚町特別緑地保全地区	株式会社三港商会	230.21	3,982,633
43	26	深谷市民の森	個人	830.83	10,468,458
44	26	恩田東部特別緑地保全地区	東京急行電鉄株式会社	30,210.22	521,399,454
45	26	西八朔町藤林特別緑地保全地区	個人	2,945.31	49,186,677
46	26	三枚町特別緑地保全地区	個人	502.47	8,341,002
47	26	峰特別緑地保全地区	個人	876.82	9,908,066
48	26	大丸山近郊緑地特別保全地区	京浜急行電鉄(株)	9,257.55	96,278,520
49	26	大丸山近郊緑地特別保全地区	個人	7,797.93	74,860,128
50	26	鍛冶ヶ谷特別緑地保全地区	個人	232.23	19,948,557
51	26	古橋特別緑地保全地区	個人	3,753.02	78,813,420
52	26	上川井町堀谷特別緑地保全地区	個人	9,500.26	115,903,172
53	26	獅子ヶ谷市民の森	個人	1,458.97	35,307,074
54	26	綱島特別緑地保全地区	個人	2,230.16	114,818,220
55	26	新治市民の森	個人	1,801.75	45,944,625
56	26	公田・荒井沢特別緑地保全地区	大林新星和不動産株式会社	3,598.43	41,022,102
57	26	瀬上特別緑地保全地区	個人	1,990.98	22,498,074
58	26	峰特別緑地保全地区	個人	5,257.53	54,152,559
59	26	峯市民の森	個人	3,070.07	32,076,419
60	26	芹が谷五丁目特別緑地保全地区	個人	5,036.51	242,759,782
			計	170,231.81	3,833,562,053
		【内訳】	個人	116,898.20	2,856,789,790
			企業	53,333.61	976,772,263

平成27年度

No.	年度	買取地区	個人/企業	面積 (㎡)	金額(円)
1	27	東寺尾六丁目特別緑地保全地区	株式会社三映地研	1,157.09	84,120,443
2	27	下倉田町特別緑地保全地区	個人	9,180.18	131,276,574
3	27	和泉町早稲田特別緑地保全地区	個人	9,000.92	155,710,260
4	27	深谷市民の森	有限会社大澤組	2,605.46	34,131,526
5	27	朝比奈特別緑地保全地区	個人	16,989.48	163,099,008
6	27	川島町二ノ沢特別緑地保全地区	個人	2,925.09	80,732,484
7	27	上川井町大貫谷特別緑地保全地区	個人	288.29	4,583,811
8	27	恩田東部特別緑地保全地区	個人	745.38	13,044,150
9	27	恩田東部特別緑地保全地区	個人	582.97	10,376,866
10	27	善部町特別緑地保全地区	個人	8,053.87	185,239,010
11	27	三保町東谷特別緑地保全地区	個人	4,681.84	72,100,336
12	27	朝比奈特別緑地保全地区	個人	9,077.57	89,867,943
13	27	富岡東三丁目市民の森	個人	9,818.97	624,486,492
14	27	恩田町番匠谷特別緑地保全地区	個人	7,310.33	114,041,148
15	27	上白根町小池特別緑地保全地区	個人	23,573.90	411,772,842
16	27	上川井町堀谷特別緑地保全地区	個人	5,036.37	61,443,714
17	27	東寺尾ふれあいの樹林	個人	12.57	392,184
18	27	小机城址特別緑地保全地区	個人	886.46	30,937,454
19	27	朝比奈特別緑地保全地区	株式会社パル企画	4,104.97	48,849,143
20	27	獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区	個人	6,473.60	86,098,880
21	27	鉄町富士塚台特別緑地保全地区	個人	7,695.65	125,439,095
22	27	綱島特別緑地保全地区	個人	1,060.12	64,879,344
23	27	綱島市民の森	個人	3.31	202,572
24	27	深谷市民の森	個人	2,636.99	92,294,650
25	27	大丸山近郊緑地特別保全地区	個人	7,408.92	71,866,524
26	27	上郷・中野特別緑地保全地区	大林新星和不動産株式会社	1,933.96	47,768,812
27	27	舞岡ふるさとの森	個人	2,976.06	39,779,242
28	27	円海山近郊緑地特別保全地区	京浜急行電鉄(株)	7,906.44	84,371,314
29	27	三保町杉沢特別緑地保全地区	個人	1,687.12	40,828,304
30	27	北八朔中特別緑地保全地区	個人	3,661.08	57,478,956
31	27	円海山特別緑地保全地区	個人	3,374.77	38,472,378
32	27	元石川町平崎特別緑地保全地区	個人	5,242.31	88,595,039
33	27	獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区	個人	2,416.53	41,322,663
34	27	南本宿特別緑地保全地区	個人	2,226.80	33,624,680
35	27	南本宿市民の森	個人	549.49	8,297,299
36	27	東寺尾ふれあいの樹林	個人	888.37	57,542,135
37	27	大丸山近郊緑地特別保全地区	京浜急行電鉄(株)	8,739.44	82,150,736
38	27	上郷・中野特別緑地保全地区	個人	2,495.52	31,194,000

39	27	今井町多子谷特別緑地保全地区	個人	4,052.20	63,619,540
40	27	今井町美立橋特別緑地保全地区	個人	5,416.41	69,330,048
41	27	寺家特別緑地保全地区	個人	2,260.94	39,792,544
42	27	上郷・中野特別緑地保全地区	個人	8,143.69	111,568,553
43	27	円海山近郊緑地特別保全地区	個人	2,413.21	26,170,851
44	27	公田・荒井沢特別緑地保全地区	大林新星和不動産株式会社	5,431.71	58,119,297
45	27	鍋屋特別緑地保全地区	個人	7,964.11	82,826,744
46	27	本郷三丁目特別緑地保全地区	個人	2,808.98	350,560,704
47	27	獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区	個人	1,427.19	24,404,949
48	27	富岡東三丁目市民の森	個人	946.24	26,683,968
49	27	池辺町滝ヶ谷戸特別緑地保全地区	個人	2,918.48	54,283,728
			計	229,191.35	4,315,772,937
		【内訳】	個人	197,312.28	3,876,261,666
			企業	31,879.07	439,511,271

平成28年度

No.	年度	買取地区	個人/企業	面積(㎡)	金額(円)
1	28	恩田東部特別緑地保全地区	東京急行電鉄株式会社	3,024.89	45,373,350
2	28	善部町特別緑地保全地区	個人	9,456.88	217,508,240
3	28	追分市民の森	個人	542.80	9,010,480
4	28	市沢町特別緑地保全地区(予定地)	個人	1,427.47	27,692,918
5	28	鶴ヶ峰二丁目特別緑地保全地区	個人	5,824.43	102,509,968
6	28	鍋屋特別緑地保全地区	個人	34.03	353,912
7	28	富岡東三丁目市民の森	個人	1,635.41	104,012,076
8	28	下倉田町特別緑地保全地区	個人	4,522.88	64,677,184
9	28	上川井町堂谷特別緑地保全地区	個人	3,761.66	67,709,880
10	28	瀬谷市民の森	個人	593.16	14,829,000
11	28	新治市民の森	個人	811.25	20,443,500
12	28	恩田東部特別緑地保全地区	個人	6,491.19	109,010,090
13	28	朝比奈特別緑地保全地区	個人	2,834.79	28,064,421
14	28	恩田東部特別緑地保全地区	個人	393.94	7,366,678
15	28	菅田町出戸谷特別緑地保全地区	個人	197.45	3,534,355
16	28	菅田町出戸谷特別緑地保全地区	個人	1,152.81	20,404,737
17	28	菅田町出戸谷特別緑地保全地区	個人	94.96	1,623,816
18	28	菅田町出戸谷特別緑地保全地区	個人	4,725.36	61,429,680
19	28	東寺尾六丁目南特別緑地保全地区	個人	2,807.84	421,737,568
20	28	池辺町滝ヶ谷戸特別緑地保全地区	個人	1,050.64	21,222,928
21	28	三保特別緑地保全地区	個人	715.24	10,084,884
22	28	瀬谷市民の森	個人	1,840.10	66,059,590
23	28	獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区	個人	217.26	10,689,192
24	28	十日市場町笹山特別緑地保全地区	個人	5,035.27	86,957,276
25	28	十日市場町笹山特別緑地保全地区	個人	1,180.73	19,363,972
26	28	三保特別緑地保全地区	個人	1,584.83	22,504,586
27	28	駒岡・梶山特別緑地保全地区	個人	1,799.97	50,039,166
28	28	鍋屋特別緑地保全地区	個人	3,178.70	33,058,480
29	28	中田ふれあいの樹林	個人	8,154.54	564,734,443
30	28	追分市民の森	個人	1,269.41	18,406,445
31	28	長津田町深田特別緑地保全地区	個人	6,877.92	135,151,840
32	28	長津田町深田特別緑地保全地区	個人	6,413.30	195,092,172
33	28	長津田町深田特別緑地保全地区	個人	99.34	1,658,978
34	28	川井本町特別緑地保全地区	個人	6,613.13	93,627,259
35	28	川井本町特別緑地保全地区	個人	1,123.48	16,852,200
36	28	川井本町特別緑地保全地区	個人	481.14	8,179,380
37	28	新治市民の森	個人	1,159.11	30,948,237
38	28	新治市民の森	個人	2,478.58	39,657,280
39	28	追分市民の森	個人	6,839.58	134,055,768

40	28	今井町美立橋特別緑地保全地区	個人	1,851.92	22,408,232
41	28	今井町美立橋特別緑地保全地区	個人	4,633.49	68,328,913
42	28	今井町美立橋特別緑地保全地区	個人	1,481.73	19,855,182
43	28	今井町美立橋特別緑地保全地区	個人	6,723.30	90,092,220
44	28	川井本町特別緑地保全地区	個人	7,622.33	106,192,126
45	28	菅田町南出戸特別緑地保全地区	個人	987.58	12,352,680
46	28	菅田町南出戸特別緑地保全地区	個人	3,159.92	33,811,144
47	28	菅田町南出戸特別緑地保全地区	個人	458.32	6,691,472
48	28	奈良町神戸特別緑地保全地区	個人	2,781.57	52,571,673
49	28	都岡町特別緑地保全地区	個人	8,978.03	153,524,313
50	28	富岡東三丁目市民の森	個人	1,205.31	38,087,796
51	28	北八朔町中特別緑地保全地区	個人	3,710.61	52,319,601
52	28	大曾根台特別緑地保全地区	個人	5,206.36	91,631,936
53	28	釜利谷特別緑地保全地区	個人	4,614.49	48,913,594
54	28	舞岡ふるさとの森	個人	5,488.50	68,565,585
55	28	北八朔町南特別緑地保全地区	個人	9,707.74	113,191,428
56	28	北八朔町南特別緑地保全地区	個人	111.24	3,860,028
57	28	寺山町本谷特別緑地保全地区	(株)Sジェネシス	657.16	6,703,032
58	28	寺山町本谷特別緑地保全地区	個人	479.64	5,755,680
59	28	寺山町本谷特別緑地保全地区	個人	3,090.56	45,740,288
60	28	岡津町金堀谷特別緑地保全地区	個人	1,011.14	24,975,158
61	28	岡津町金堀谷特別緑地保全地区	個人	3,630.19	88,939,655
62	28	瀬谷市民の森	個人	4,607.42	97,677,304
63	28	中里三丁目特別緑地保全地区(予定地)	個人	7,476.28	160,190,954
64	28	汲沢四丁目特別緑地保全地区	個人	5,647.35	198,192,685
65	28	日吉特別緑地保全地区(予定地)	個人	30.10	6,260,800
66	28	野庭町特別緑地保全地区	個人	8,402.96	137,945,674
67	28	上郷・中野特別緑地保全地区	個人	1,303.13	15,767,873
68	28	上菅田町金草沢東特別緑地保全地区	個人	6,375.02	86,700,272
69	28	円海山近郊緑地特別保全地区	個人	7,913.10	83,878,860
70	28	大丸山近郊緑地特別保全地区	京浜急行電鉄(株)	9,534.08	86,760,128
71	28	大道二丁目特別緑地保全地区	(株)ナチュラル設計企画	9,874.49	92,820,206
			計	247,200.53	5,006,342,421
		【内訳】	個人	224,109.91	4,774,685,705
			企業	23,090.62	231,656,716

平成29年度

No.	年度	買取地区	個人/企業	面積(㎡)	金額(円)
1	29	都岡町特別緑地保全地区	個人	10.98	170,190
2	29	今井町美立橋特別緑地保全地区	個人	2,352.48	23,524,800
3	29	大曾根台特別緑地保全地区	個人	899.68	15,024,656
4	29	都岡町特別緑地保全地区	個人	4,205.63	65,187,265
5	29	都岡町特別緑地保全地区	個人	781.41	12,111,855
6	29	都岡町特別緑地保全地区	個人	683.32	10,591,460
7	29	汲沢四丁目特別緑地保全地区	個人	274.15	9,759,740
8	29	鴨居原特別緑地保全地区	個人	316.77	3,991,302
9	29	神大寺二丁目特別緑地保全地区	個人	5,870.45	176,700,545
10	29	三枚町矢崎特別緑地保全地区	個人	2,117.84	62,899,848
11	29	獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区	個人	826.07	11,978,015
12	29	獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区	個人	460.05	5,880,452
13	29	恩田東部特別緑地保全地区	個人	2,100.93	31,303,857
14	29	恩田東部特別緑地保全地区	個人	4,310.22	64,222,278
15	29	恩田東部特別緑地保全地区	井上商事(株)	5,288.09	79,321,350
16	29	恩田東部特別緑地保全地区	東京急行電鉄(株)	4,807.23	74,028,055
17	29	恩田東部特別緑地保全地区	個人	1,256.10	19,092,720
18	29	恩田東部特別緑地保全地区	個人	444.43	7,021,994
19	29	新治市民の森	個人	725.35	14,434,565
20	29	北八朔町中特別緑地保全地区	個人	238.67	3,627,784
21	29	(仮称)中里三丁目特別緑地保全地区	個人	6,289.71	134,209,752
22	29	野庭町特別緑地保全地区	個人	8,785.29	92,245,545
23	29	釜利谷特別緑地保全地区	個人	6,069.59	64,321,479
24	29	獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区	個人	5,506.87	80,400,302
25	29	市沢町特別緑地保全地区	個人	3,201.90	38,422,800
26	29	(仮称)恩田市民の森	個人	1,520.02	47,576,626
27	29	追分市民の森	個人	5,885.52	75,923,208
28	29	追分特別緑地保全地区	個人	989.42	16,325,430
29	29	北八朔町南特別緑地保全地区	個人	2,200.56	19,805,040
30	29	北八朔町南特別緑地保全地区	個人	3,496.39	33,215,705
31	29	長津田町馬ノ背特別緑地保全地区	個人	7,520.75	82,875,037
32	29	長津田町馬ノ背特別緑地保全地区	個人	53.68	5,690,080
33	29	市沢町特別緑地保全地区	個人	38.07	449,226
34	29	市沢町特別緑地保全地区	個人	307.63	3,630,034
35	29	三保特別緑地保全地区	個人	8,396.01	95,714,514
36	29	寺家特別緑地保全地区	個人	6,326.72	80,797,930
37	29	今井町多子谷特別緑地保全地区	個人	2,777.81	42,410,565
38	29	新治市民の森	個人	4,781.09	138,705,987
39	29	新治市民の森	個人	2,881.37	44,423,297
40	29	今井町多子谷特別緑地保全地区	個人	6,181.52	93,317,734

41	29	寺家特別緑地保全地区	個人	4,852.44	59,685,012
42	29	奈良町宮ノ谷特別緑地保全地区	個人	6,239.67	100,458,687
43	29	上川井町堂谷特別緑地保全地区	個人	9,323.24	93,589,050
44	29	獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区	個人	1,551.08	24,585,312
45	29	獅子ヶ谷市民の森	個人	1,395.55	23,445,240
46	29	上川井町堂谷特別緑地保全地区	個人	7,449.60	86,527,930
47	29	上川井町堂谷特別緑地保全地区	個人	98.92	890,280
48	29	上川井町堂谷特別緑地保全地区	個人	734.73	7,053,408
49	29	大道二丁目特別緑地保全地区	(株)ナチュラル設計企画	12,327.64	120,218,881
50	29	日吉特別緑地保全地区	個人	1,032.65	40,789,675
51	29	上矢部ふれあいの樹林	個人	820.15	46,338,475
52	29	宮沢三丁目特別緑地保全地区	個人	2,062.73	27,846,855
53	29	新橋町特別緑地保全地区	(株)相鉄アーバンクリエイツ	1,642.01	21,181,929
54	29	大丸山近郊緑地特別緑地保全地区	京浜急行電鉄(株)	9,349.83	82,278,504
55	29	円海山近郊緑地特別緑地保全地区	個人	830.71	9,303,952
56	29	舞岡特別緑地保全地区	個人	7,761.05	85,371,550
57	29	氷取沢特別緑地保全地区	個人	7,825.82	63,389,142
			計	196,477.59	2,774,286,904
		【内訳】	個人	163,062.79	2,397,258,185
			企業	33,414.80	377,028,719

【平成26～29年度 計】

	面積 (㎡)	金額 (円)
個人 215件	701,383.18	13,904,995,346
(ha)	(約70.1)	
企業 22件	141,718.10	2,024,968,969
(ha)	(約14.2)	

※平成26～29年度の買取面積88.5haには、個人及び企業からの買取面積の他に、先行取得用地の有償所管替面積約4.3haを含みます。

平成 21 年度以降の樹林地の買取りに要した費用の財源内訳

【単位：百万円】

	用地費	財源内訳			
		国費	市債	みどり税	一般財源
21 年度 (決算)	4,361	1,486	1,884	168	823
22 年度 (決算)	5,757	1,361	3,187	607	602
23 年度 (決算)	6,998	2,407	3,109	1,186	296
24 年度 (決算)	10,344	3,504	5,027	1,348	465
25 年度 (決算)	8,950	2,178	5,836	671	265
小計①	36,410	10,936	19,043	3,980	2,451
26 年度 (決算)	4,842	1,516	3,075	143	108
27 年度 (決算)	5,402	1,495	2,864	805	238
28 年度 (決算)	5,332	1,309	3,285	534	204
29 年度 (決算見込)	4,859	883	3,364	418	194
小計②	20,435	5,203	12,588	1,900	744
合計①+②	56,845	16,139	31,631	5,880	3,195

地産地消の状況について

1 横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）の地産地消に関する主な計画

(1) 横浜都市農業推進プラン（平成 26 年～30 年）

横浜市基本構想（長期ビジョン）や横浜市水と緑の基本計画に基づき、おおむね 10 年後の横浜の都市農業を展望しつつ、横浜市中期 4 か年計画（2014～2017）と整合を図りながら、平成 26 年度から 30 年度までの 5 か年の具体的な取組についての計画を定めています。

取組は、一般会計で実施する「持続できる都市農業を推進する」と特別会計で実施する「市民が身近に農を感じる場をつくる」の 2 つの柱からなっています。なお、31 年度からの次期推進プランは、都市農業振興基本法に基づく地方計画に位置付けます。



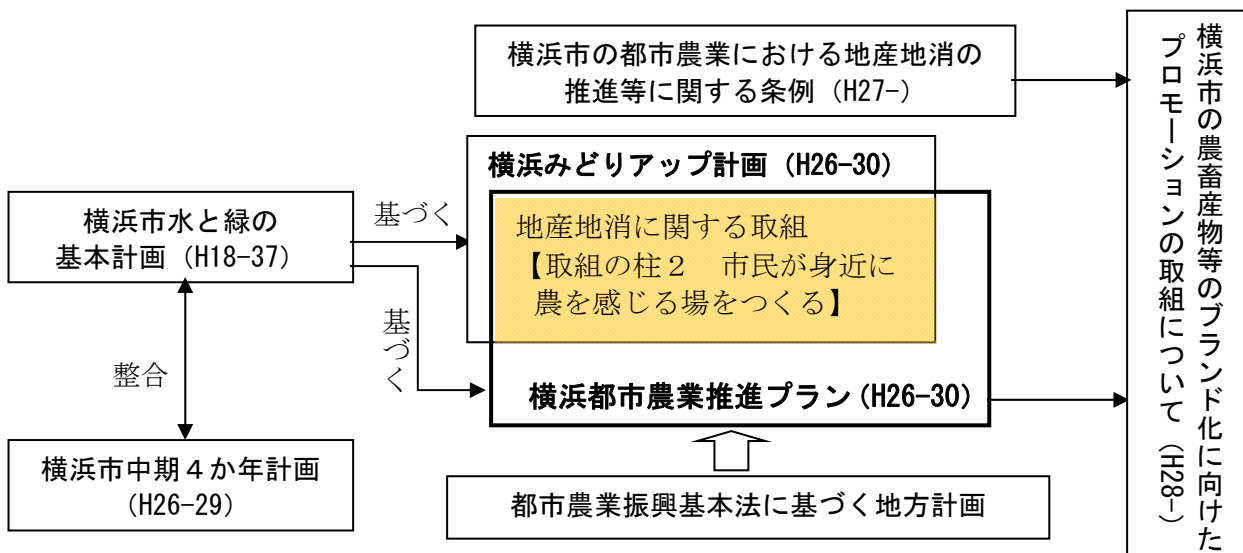
(2) 横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例（平成 27 年 4 月施行）

平成 27 年 4 月に「横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例」が施行されました。この条例は、横浜市、生産者、事業者及び市民が協力し、安全で安心な市内産農畜産物の提供による市民の健全な食生活の確保並びに農業経営の安定化・効率化に向けた農業振興、多様な担い手に対する支援、農地の利用促進並びに時代の変化に応じた新たな施策としての農業技術の先進化及び 6 次産業化などによる農畜産物の付加価値の向上につなげていくために制定しています。

(3) 横浜市の農畜産物等のブランド化に向けたプロモーションの取組について（平成 28 年 9 月策定）

平成 28 年 9 月に「横浜市の農畜産物等のブランド化に向けたプロモーションの取組について」を策定し、常任委員会に報告しました。この取組は、中期計画に位置付けられたブランド戦略に該当しており、「横浜農場」を活用した統一的なプロモーションなど、市内産農畜産物のブランド化のための取組を積極的かつ着実に進めていくこととしています。

【地産地消に関連する計画等の相関図】



2 横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度） 身近に感じる地産地消の推進

(1) 直売所等の整備・運営支援

市民の皆様が市内産農畜産物やその加工品を購入できる場を増やすため、農家の方が行う直売等を支援しています。

【参考】

- ・直売所等の整備や青空市の運営の支援、直売所・加工所の整備、青空市でのイベント開催支援

(2) 情報発信、PR活動

- ・毎年 11 月を「地産地消月間」と位置付け、地産地消を PR するイベントを実施しています。
- ・農地の少ない都心部において、身近に横浜の「農」を実感してもらう「食と農の祭典」や、市内の飲食店で市内産農畜産物を使用したメニュー提供等を行う「地産地消フェア」など、様々なイベントで地産地消を PR しています。
- ・実施にあたっては、「横浜農場」をキャッチフレーズに統一的に PR しています。

【参考1 地産地消月間イベント例】

○食と農の祭典 2017(開催日:11 月 18 日(土)、19 日(日) 開催場所:北仲通北第二公園他)

- ・農地の少ない都心部で、身近に横浜の「農」を実感してもらうために「横浜の農にふれる・見る・味わう」というテーマでイベントを実施
- ・市内産農畜産物等の販売、「横浜農場」をイメージした花・植木等の展示、農機具の展示、スタンプラリーやワークショップの実施や横浜農場フラッグの掲示等



○地産地消フェア(開催期間:11 月中 ※店舗により開催時期は異なります)

市内の飲食店の各店舗で市内産農畜産物を使用したメニュー提供等

(参加店舗例)みなとみらい3ホテル(横浜ロイヤルパークホテル、横浜ベイホテル東急、
ヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテル)など



○はま菜ちゃん料理コンクール

市内小学生を対象とした、市内産野菜を使った学校給食の献立を提案するコンクール



【参考2 横浜農場】

食や農に関わる多様な人たち、農畜産物、農景観など横浜らしい農業全体を1つの農場に見立てた言葉。

「横浜農場」で横浜の農の魅力を統一的に PR しています。



【参考3 その他広報】

- ・はまふうどナビ（年3回発行）：紙媒体、メールマガジン、HPで発行
地産地消に関する取組、直売所やイベント情報、旬の農産物とレシピ等を紹介

3 横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度） 市民や企業と連携した地産地消の展開

(1) 地産地消を広める人材育成

- ・地産地消を広める人材を育てる取組の一つとして、「はまふうどコンシェルジュ」講座を開講し、地産地消を実践し、普及につとめる方々を育成しています。
- ・コンシェルジュは、地産地消に興味のある一般の皆様のほか、生産者や飲食店等の事業者の方など様々な経歴をお持ちです。この事業により育まれた新たなネットワークから、マルシェや農体験教室の開催など、自主的な取組も発展してきています。



マルシェ



農作業体験教室



バスツアー

- ・市内産農畜産物を使用したメニューを積極的に提供するお店を「よこはま地産地消サポート店」として登録しています。
- ・「よこはま地産地消サポート店」を紹介する飲食店マップを作成し、横浜を訪れる多くの観光客の方にも知ってもらえる取組などもしています。

▼都心臨海部よこはま地産地消サポート店マップ



【参考】

○はまふうどコンシェルジュの育成及び活動支援

地産地消の普及と実践をしていただける方を育成するための講座を開催、修了生を認定
認定後の自主的な活動に対して支援
※355名認定(平成29年度講座修了時)

○よこはま地産地消サポート店の登録推進

市内産農畜産物を使用したメニュー等の提供を行う飲食店等をサポート店として登録し、PRを実施
※117店舗登録(平成29年度末)

(2) 市民や企業等との連携

- ・生産者と飲食店等が交流・マッチングを進めることで、市内産農畜産物の付加価値を高めていく取組の一環として、生産者と飲食店等の交流会や商談会などを開催しています。

【参考1】

○生産者と都心臨海部のホテル・レストランなどの飲食店による交流会

生産者が作った野菜の展示や市内産農産物を使った料理の試食を行いながら、市内の生産者と飲食店等が交流し、ネットワークの拡大や市内産農畜産物の利用の促進を進めることにより、その付加価値を高める。



会場の様子



参加生産者の農産物を飲食店が調理



展示ブースでの交流の様子

- ・市内産農畜産物を使用した加工品の創出など、地産地消に貢献するビジネスの事業化に取り組む市内中小企業や新規創業者の方を「地産地消ビジネス創出支援事業」で支援しています。
- ・企業が行う地産地消活動など、農と市民・企業等が連携する取組を支援しています。

【参考2】

○地産地消ビジネス創出支援事業

市内産農畜産物を活用し、地産地消に貢献するビジネスへ取り組む意欲のある市内中小企業や新規創業者等を対象に2か年にわたって支援を行う。1年目は育成講座によるビジネスプランの策定、2年目には事業の実施に向けた専門家による相談対応や事業化のための経費等に対して支援。

(事業化例)

- ・摘果された青みかんを使用したドレッシングの開発
- ・市内産農畜産物を使用したコンフィチュールのギフト商品開発等



○企業等との連携

企業による市内産農畜産物を使った新商品の開発やマルシェの開催等に協力



▲ヤマザキ製パンによる
新商品（ランチパック）



▲香炉庵による新商品（浜なしゼリー）



▲Yokohama Strawberry Festival
2017 での横浜産イチゴの販売

身近な緑の創出の実績と今後の計画

1. 民有地の緑化

(1) 現計画での実績 (H26～29 年度)

- 市街化区域内にある建築物の屋上又は壁面の緑化を 3 m²以上行う場合、緑化工事費用の一部を助成しました。ただし、法令等により緑化率の定めがある場合は、その基準を超えた部分の緑化を対象に助成しました。また、緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区は、公開性・視認性の高い場所での緑化など効果的な取組として地面の緑化に対しても助成を行いました。
- 人生の節目の記念に希望した横浜市民等に、苗木を無料で配布しました。
- 面積 500 m²以上の建築物敷地で、法令等の基準以上の緑化を行い、その緑化部分を 10 年間保全する契約を市と締結した場合、固定資産税等の一部が軽減される、建築物緑化保全契約の締結を進めました。

区	民有地緑化助成	人生記念樹配布	建築物緑化保全契約
鶴見	6か所 (拡充3か所)	1,545 本	—
神奈川	2か所	1,321 本	1 件
西	3か所	744 本	—
中	1か所 (拡充1か所)	692 本	1 件
南	1か所 (拡充1か所)	745 本	1 件
港南	2か所	1,479 本	—
保土ヶ谷	1か所	1,467 本	2 件
旭	—	2,492 本	2 件
磯子	1か所	1,563 本	—
金沢	—	2,098 本	1 件
港北	—	2,102 本	—
緑	1か所	1,712 本	1 件
青葉	—	4,063 本	—
都筑	1か所	1,950 本	1 件
戸塚	—	2,936 本	5 件
栄	—	1,113 本	—
泉	—	1,262 本	—
瀬谷	1か所	1,152 本	1 件
【合計】	20 か所	30,436 本	契約件数：16 件

(2) これからの緑の取組 [2019-2023] (案)

- 民有地緑化助成は、助成内容等を変更し、公開性のある緑空間の創出支援として、駅前や都心部などの公開性があり、多くの人々が訪れる場所において、緑化などを行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成します。

【5か年の目標】 公開性のある緑空間の創出支援：推進

- 人生記念樹の配布や建築物緑化保全契約の締結については、継続して実施します。

【5か年の目標】 人生記念樹の配布：40,000 本配布

2. 公共施設・公有地での緑の創出・管理

(1) 現計画での実績 (H26~29 年度)

- ・市庁舎（くすのき広場）や鶴見区、西区、保土ヶ谷区、南区、金沢区、港南区や栄区の各庁舎など、多くの市民が利用する施設等を新たに緑化しました。
- ・創出した緑を良好に維持するために、各施設において適切な維持管理が行われました。

区	施設名	施設数
鶴見	鶴見区庁舎ほか 1 か所	2
神奈川	三ツ沢せせらぎ緑道ほか 3 か所	4
中	市庁舎（くすのき広場）ほか 3 か所	4
西	西区庁舎ほか 12 か所	13
南	南区庁舎ほか 2 か所	3
港南	港南区庁舎ほか 8 か所	9
保土ヶ谷	保土ヶ谷区庁舎ほか 5 か所	6
旭	旭区民文化センターほか 11 か所	12
磯子	市道新杉田 1 1 7 号線ほか 3 か所	4
金沢	金沢区庁舎	1
港北	港北スポーツセンターほか 3 か所	4
緑	森の台 1 号雨水調整池ほか 2 か所	3
青葉	青葉区庁舎ほか 3 か所	4
都筑	横浜国際プール	1
戸塚	宇田川	1
栄	栄区庁舎	1
泉	泉土木事務所	1
瀬谷	相沢川水辺広場ほか 1 か所	2
合計		75

(2) これからの緑の取組 [2019-2023] (案)

- ・各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進します。
- ・充実を図った公共施設・公有地の緑を良好に維持します。

【5か年の目標】緑の創出：36 か所

3. 公有地化によるシンボリックな緑の創出

(1) 現計画での実績 (H26~29 年度)

- ・緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区などを対象に、多くの市民の目にふれる場所で、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保し、緑豊かな公園の整備を進めました。
- ・平成 29 年度末に、本事業で整備した市内で初めての公園である、鶴見区の下野谷町三丁目公園が完成しました。平成 30 年度は、西区・港南区の公園について整備を行っています。

【参考】事業進捗状況 (平成 30 年 3 月末時点)

区	公園名	進捗状況
鶴見	下野谷町三丁目公園	完成 (平成 30 年 4 月 1 日開園)
神奈川	(仮称) 六角橋四丁目公園	設計中
西	伊勢町もくせい公園 (拡張)	工事中
中	港の見える丘公園 (拡張)	一部用地取得手続中
港南	(仮称) 最戸一丁目公園	設計中



下野谷町三丁目公園 (鶴見区)

(2) これからの緑の取組 [2019-2023] (案)

- ・中区、神奈川区では、継続して整備を行います。
- ・多くの市民の目にふれる場所で、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保し、緑豊かな空間を創出することで、街の魅力や賑わいづくりにつなげます。
- ・花畑や名所など、地域に親しまれている緑のオープンスペースが、所有者の不測の事態等により、存続が困難となる場合に用地を取得し、緑や花による地域のシンボリックな空間として保全します。

【5か年の目標】 公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理：推進

(想定箇所：継続 2 か所、新規 2 か所)

4. 地域緑のまちづくり

(1) 現計画での実績 (H26~29 年度)

- ・地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民と協働して進めました。
- ・H25 年度からの継続地区：16 地区
- ・H26 年度からの新規協定締結地区：26 地区 計 42 地区

26 年度	6 地区	28 年度	9 地区
洋光台一丁目地区	磯子	菅田地区	神奈川
六ツ川・永田地区	南	鴨居・白山一丁目地区	緑
柿の木台地区	青葉	大倉山つつみ通り地区	港北
竹山三丁目地区	緑	関内地区	中
金沢文庫 すすらん通り地区	金沢	東山田四丁目地区	都筑
中原三丁目地区	磯子	石川町地区	中
		三保町宮根地区	緑
27 年度	4 地区	日本大通り地区	中
東本郷地区	緑	江田駅周辺地区	青葉
霧の里地区	緑	29 年度	7 地区
初黄・日ノ出町地区	中	中之丸地区	港南
上星川地区	保土ヶ谷	日野団地地区	港南
		汐見台2丁目地区	磯子
		磯子・岡村地区	磯子
		前田町桜の丘地区	戸塚
		武蔵中山台地区	緑
		霧が丘六丁目地区	緑
		合計	26 地区

※継続地区 (16 地区)

山手地区、馬車道地区、白根台第九地区、上白根国際地区、名瀬たかの台地区、上飯田地区、生麦・新子安地区、みなとみらい 21 中央地区、錦が丘地区、末広地区、平楽地区、みなとみらい 21 新港地区、牛久保西地区、北寺尾地区、みなとみらい 21 横浜駅東口・中央地区、湘南桂台地区



中学校での植付けの様子 (湘南桂台地区/栄区)



沿道の緑化 (江田駅周辺地区/青葉区)

(2) これからの緑の取組 [2019-2023] (案)

- ・「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の思いを実現するため、計画づくり、花や木の植栽、維持管理など、緑のまちづくりに協働で取り組みます。
- ・ご近所同士や集合住宅の管理組合でも気軽に取り組める仕組みを継続しながら、地域での緑化整備や維持管理活動を支援します。
- ・引き続き、団体同士の交流を目的とした活動報告や交流会を実施し、市の助成が終了した後も、地域で自立的な緑化活動が継続できるように支援します。
- ・平成 30 年度までに地域緑化計画を策定した地区については、継続して整備への支援を行います。

【5か年の目標】 地域緑のまちづくり：新規 30 地区

5. 子どもを育む空間での緑の創出

(1) 現計画での実績 (H26~29年度)

- ・子どもを育む空間である、保育園、幼稚園、小中学校において、芝生やビオトープなどの多様な緑を創出しました。
- ・芝生等を良好に維持するとともに、多様な緑化を一層推進するため、維持管理費用の一部を助成しました。

区	民間 保育園・幼稚園・小中学校	公立保育園	公立小中学校
鶴見 (民間4か所、 公立12か所)	わおわお東寺尾保育園、SEA KID 保育園、聖ヨゼフ学園小学校、トイボックス江ヶ崎保育園	馬場保育園	潮田小学校、寛政中学校、下野谷小学校(2件)、鶴見小学校、豊岡小学校(2件)、平安小学校(2件)、入船小学校、寺尾小学校
神奈川 (民間3か所、 公立10か所)	捜真小学校、ニューライフ幼稚園、捜真学院 ANNEX	菅田保育園(2件)、神大寺保育園	西寺尾小学校、浦島小学校(3件)、幸ヶ谷小学校(2件)、青木小学校
西 (民間3か所、 公立3か所)		南浅間保育園(2件)	浅間台小学校
中 (民間3か所、 公立4か所)	ポピンズナーサリースクール馬車道、打越保育園、聖母幼稚園	錦保育園、竹之丸保育園	元街小学校、本牧南小学校
南 (民間1か所、 公立15か所)	くらき永田保育園	三春台保育園	井土ヶ谷小学校(2件)、別所小学校、南小学、六つ川西小学校、南が丘中学校、石川小学校、永田台小学校、藤の木小学校、南太田小学校、大岡小学校、永田小学校、日枝小学校、太田小学校
港南 (民間1か所、 公立6か所)	野庭聖佳幼稚園	大久保保育園、港南台保育園、野庭第二保育園	下永谷小学校、日野南小学校、吉原小学校
保土ヶ谷 (民間2か所、 公立8か所)	梅の木保育園、エルアンジュ保育園		岩井原中学校、上星川小学校、富士見台小学校(5件)、上菅田小学校
旭 (民間3か所、 公立3か所)	ひまわり愛児園、SAFARI KID 保育園、三ツ境たんぽぽ保育園		川井小学校、南本宿小学校、左近山中学校
磯子 (民間1か所、 公立5か所)	屏風ゆめの森保育園		岡村小学校、洋光台第四小学校(2件)、洋光台第二中学校、洋光台第二小学校
金沢 (民間1か所、 公立2か所)	とみおかスマイル保育園	並木第二保育園	富岡小学校
港北 (民間5か所、 公立2か所)	大倉山保育園、パレット保育園・大豆戸、第二尚花愛児園、新羽どろんこ保育園、木の下綱島東	太尾保育園	綱島小学校
緑 (民間3か所、 公立4か所)	明日葉保育園長津田園、森の台保育園、おひさますまいる保育園	鴨居保育園(2件)	新治小学校、長津田第二小学校
青葉 (民間3か所、 公立9か所)	トイボックスたまプラーザ園、もみの木台保育園、愛和太陽幼稚園	美しが丘保育園	鴨志田中学校、さつきが丘小学校、藤が丘小学校、美しが丘東小学校、つつじが丘小学校(2件)、黒須田小学校、美しが丘小学校

【次頁に続く】

区	民間 保育園・幼稚園・小中学校	公立保育園	公立小中学校
都筑 (民間3か所、 公立7か所)	パレット保育園・牛久保西、 ブライツ保育園 横浜佐江戸、 キッズフォレ東山田	大熊保育園、 中川西保育園	茅ヶ崎中学校、都筑小学校、南山田小 学校、川和中学校、中川西小学校
戸塚 (民間3か所、 公立6か所)	東台幼稚園(2件)、ハートの 森保育園		俣野小学校、倉田小学校、平戸中学校 (2件)、小雀小学校、大正小学校
栄 (民間1か所、 公立10か所)	やまゆり幼稚園	桂台保育園、 飯島保育園、 公田保育園	桂台小学校(3件)、飯島小学校(2件)、 公田小学校、本郷小学校
泉 (民間5か所、 公立5か所)		和泉保育園	中田小学校(3件)、和泉小学校
瀬谷 (民間4か所、 公立4か所)		中屋敷保 育園、下瀬谷保 育園、瀬谷第 二保育園	下瀬谷中学校
【合計】 (民間37か所、 公立115か所)	延べ37か所	延べ26か 所	延べ89か所



〔整備〕園庭の芝生化（三春台保育園／南区）



ビオトープ整備計画作りの訪問指導
(和泉小学校／泉区)

(2) これからの緑の取組[2019-2023] (案)

- ・「子どもを育む空間での緑の創出・育成」の事業として、保育園・幼稚園・小中学校のほか、認定こども園においても緑の創出に取り組みます。
- ・園庭・校庭の芝生化や、ビオトープ、花壇づくり、屋上や壁面の緑化などを進め、多様な緑を創出します。
- ・多様な緑化を一層推進するため、維持管理費用の一部を助成するほか、芝生やビオトープに関する技術支援を行います。

【5か年の目標】保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出：100か所

6. 緑や花による魅力・賑わいの創出

(1) 現計画での実績 (H26~29 年度)

- ・ 4 か年でみなとみらい 21 地区から山下地区を中心とした、延べ 23 か所で、緑や花による整備を進めました。
- ・ 山下公園や港の見える丘公園など、延べ 28 か所で、バラ園や花壇等の維持管理を進めました。

実施か所	区	都心臨海部の緑花	緑花の維持管理
アメリカ山公園	中	実施	—
山下公園	中	実施	実施
港の見える丘公園	中	実施	実施
横浜公園	中	実施	実施
元町公園 (西洋館含む)	中	実施	実施
山手イタリア山庭園 (西洋館含む)	中	実施	実施
グランモール公園	西	—	実施
日本大通り	中	実施	実施
山下公園通り	中	—	実施
桜木町駅前西口広場	中	実施	—
東横線跡地 (桜木町駅前)	中	実施	—
新港中央広場	中	実施	実施
象の鼻パーク	中	実施	実施
赤レンガパーク	中	実施	実施
カップヌードルミュージアムパーク	中	実施	実施
自動車道	中	実施	実施
日本丸メモリアルパーク	西	実施	—



山手イタリア山庭園の緑花整備 (中区)



港の見える丘公園「香りの庭」の維持管理 (中区)

(2) これからの緑の取組 [2019-2023] (案)

- ・ みなとみらい 21 地区などの都心臨海部に加え、全国都市緑化よこはまフェアの開催により多くの人で賑わった里山ガーデンなど、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や、港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。
- ・ 緑や花に親しむ市民の盛り上がりを醸成していくため、地域に根差した各区での取組や公園等での地域の花いっぱいにつながる取組を推進します。
- ・ いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます。

【5か年の目標】 緑花による空間づくりと維持管理：推進

街路樹の維持管理に要した全体の予算額

街路樹の維持管理費決算額 (H26～29)

【単位：千円】

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込額)	合計
【一般会計】 道路局 (街路樹管理事業費)	1,097,700	1,318,411	1,330,187	1,401,919	5,148,217
【特別会計】 横浜みどりアップ 計画 (いきいきとした 街路樹づくり)	261,745	277,232	277,172	272,163	1,088,312

街路樹について（街路樹再生の事業スキームや実施予定箇所）

事業① まちなかでの緑の創出・育成

取組（２）街路樹による良好な景観の創出・育成

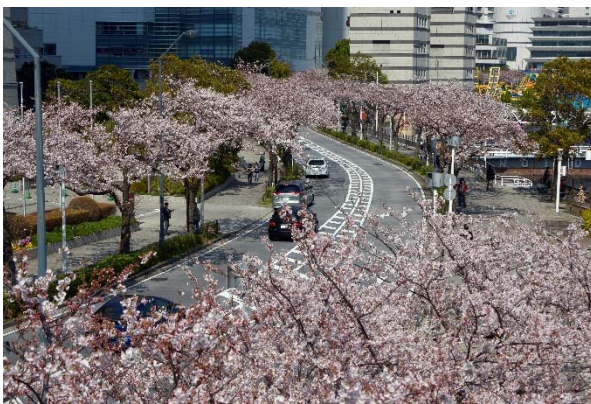
●街路樹の再生

- ・老木化した桜並木などの地域で愛されている並木の再生や、空いている植栽枡への補植など、街路樹による良好な景観づくりを進めます。

【５か年の目標】 10 路線

想定事業箇所の例

区	場所	内容
南・中	大岡川プロムナード	桜の再生
港南	港南桜道	桜の再生
緑	環状４号線	桜の再生
中	本牧通り	桜の再生



街路樹の再生（イメージ）



空いている植栽枡

●街路樹の良好な維持管理

- ・駅周辺や各区の主要な路線など、多くの市民の目にふれ、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成します。

【５か年の目標】 18 区で推進

これからの緑の取組[2019-2023]（案）の中で実施する
ガーデンネックレス横浜の内容と事業費

事業② 市民や企業と連携した緑のまちづくり

取組（2）地域に根差した緑や花の楽しみづくり 【5か年事業費：209百万円】

- ・地域に根差した各区での取組
- ・地域の花いっぱい推進



地域に根差した各区での取組



地域の花いっぱい推進

事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

取組（1）都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり 【5か年事業費：1,178百万円】

- ・里山ガーデンの整備、管理
- ・魅力ある花の名所づくり など



里山ガーデンの整備・管理



魅力ある花の名所づくり

合計… 【5か年事業費：1,387百万円】（全額みどり税非充当）

市民協働の取組実績

取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

森づくりガイドライン等を活用した森の育成	
<ul style="list-style-type: none"> ・多様な動植物が生息し、安全な森とするため、市民の森等で、愛護会等と連携した維持管理を実施した ・樹林地の将来像や維持管理の考え方を定める「保全管理計画」を市民協働で策定した 	【H26～H29 年度】 保全管理計画の策定：25 か所（樹林地：12 か所、公園：13 か所） 計画策定後の維持管理に関する研修会：88 回
森づくりを担う人材の育成	
<ul style="list-style-type: none"> ・森に関わる人材育成を進め、市民と協働した森の維持管理を進めた 	【H26～H29 年度】 森づくり活動団体への研修の実施：53 回
森づくり活動団体への支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・森づくり活動を行っている団体に対して、積極的な森づくり活動を支援するための助成や、道具の貸出・専門家派遣などの支援を行い、市民と協働した森の維持管理を進めた 	【H26～H29 年度】 森づくり活動を行っている団体への支援： ・延べ 144 団体（樹林地：延べ 108 団体、公園：延べ 36 団体）
森の楽しみづくり	
<ul style="list-style-type: none"> ・森に関わる市民の裾野を広げるため、森に関わるきっかけとなるイベントや広報活動を展開した ・また、森を楽しむためのプログラムを自ら企画・運営できる人材を育成するための講座を実施した 	【H26～H29 年度】 間伐材活用クラフトイベント ：309 回（約 29,900 名参加） 親子で参加できる森に親しむイベント ：90 回（約 23,747 名参加） 樹林地を利用したウォーキングイベント ：36 回（約 1,146 名参加） インタープリター養成講座 ：16 回（41 名修了） ほか

取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

収穫体験農園の開設支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の農への関心を高めるよう、果物のもぎ取りや野菜の収穫などを気軽に体験することができる果樹園や農園の整備に対し支援を行った 	【H26～H29 年度】 収穫体験農園の整備に対する助成：6.6ha
市民や企業と連携した地産地消の展開	
<ul style="list-style-type: none"> ・農家と市民・企業、様々な人や団体が連携し、協働による地産地消の様々な取組を展開した 	【H26～H29 年度】 様々な団体・企業等が連携した地産地消の取組：37 件 「食と農の祭典」（26、27、29 年度）の開催及び「横浜農業の祭典」への参加（H28）

取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる

市民協働による緑のまちづくり	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めた 	【H26～H29 年度】 新規協定締結地区：26 地区 （継続地区 16 地区 計 42 地区）